

Japan Trauma Data Bank Report 2016 (2011-2015)

Japan Trauma Care and Research

**The Japanese Association for the Surgery of Trauma
(Trauma Registry Committee)**



**The Japanese Association for Acute Medicine
(Committee for Clinical Care Evaluation)**



Figure
1A

JTDB参加施設名(全256施設、順不同) 2016年3月時点

手稲溪仁会病院	埼玉医科大学総合医療センター	(独)国立病院機構 横浜医療センター
北海道大学病院	深谷赤十字病院	日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター
北斗病院	船橋市立医療センター	済生会横浜市東部病院救命救急センター
(独)国立病院機構 北海道医療センター	順天堂浦安病院	聖マリ安娜医科大学
市立札幌病院	国保旭中央病院	湘南鎌倉総合病院
社会医療法人母恋 日鋼記念病院	日本医科大学千葉北総病院	横浜市立市民病院
札幌医科大学附属病院	千葉大学医学部附属病院	小田原市立病院
旭川赤十字病院	千葉県救急医療センター	横須賀共済病院
弘前大学医学部附属病院	松戸市立病院	平塚市民病院
青森県立中央病院	亀田総合病院	藤沢市民病院救命救急センター
八戸市立市民病院	国保直営総合病院君津中央病院	関東労災病院
岩手医科大学	東京慈恵医科大学附属柏病院	横浜労災病院
岩手県久慈病院	東京女子医科大学八千代医療センター	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター
岩手県立中央病院	東京ベイ・浦安市川医療センター	東海大学医学部付属病院
大崎市民病院	千葉労災病院	昭和大学藤が丘病院
東北大学病院	昭和大学病院	北里大学病院
仙台市立病院	(独)国立病院機構 東京医療センター	横須賀市立うわまち病院
石巻赤十字病院	日本大学医学部社会医学講座	横浜市立みなと赤十字病院
(独)国立病院機構 仙台医療センター	(独)国立病院機構 災害医療センター	横浜栄共済病院
みやぎ県南中核病院	都立広尾病院救命救急センター	新潟市民病院
秋田赤十字病院	武蔵野赤十字病院	新潟大学歯学総合病院高次救命災害治療センター
山形県立中央病院救命救急センター	日本医科大学多摩永山病院	新潟県立新発田病院
福島県立医科大学	東京医科大学	厚生連 高岡病院
太田西ノ内病院	東京医科大学八王子医療センター	市立砺波総合病院
会津中央病院	慶應大学病院	富山県立中央病院
茨城西南医療センター病院	聖路加国際病院	富山大学附属病院
(独)国立病院機構 水戸医療センター	帝京大学	金沢大学附属病院
筑波大学附属病院	東邦大学医療センター大森病院	石川県立中央病院
筑波メディカルセンター病院	(独)国立国際医療研究センター	福井県立病院
茨城県立中央病院	東京大学医学部附属病院	福井大学医学部附属病院
獨協医科大学病院救命救急センター	公立昭和病院	山梨県立中央病院
自治医科大学	東京女子医科大学東医療センター	相澤病院
栃木県済生会宇都宮病院	日本医科大学付属病院	諏訪赤十字病院
群馬大学医学部附属病院	杏林大学医学部附属病院	飯田市立病院
前橋赤十字病院	駿河台日本大学病院	伊那中央病院
(独)国立病院機構 高崎総合医療センター	東京女子医科大学	佐久総合病院佐久医療センター
富士重工業健康保険組合 太田記念病院	青梅市立総合病院	信州大学医学部附属病院
さいたま赤十字病院	日本大学医学部附属板橋病院	長野赤十字病院
埼玉医科大学国際医療センター	東京医科歯科大学医学部附属病院	長野市民病院
久喜総合病院	東京都立墨東病院	高山赤十字病院
川口市立医療センター	東京都済生会中央病院	大垣市民病院
獨協医科大学越谷病院	国立成育医療研究センター	下呂市立金山病院
防衛医科大学校病院	昭和大学横浜市北部病院	JA岐阜厚生連中濃病院

Figure
1B

JTDB参加施設名(全256施設、順不同) 2016年3月時点

岐阜大学医学部附属病院	大阪市立大学医学部附属病院	高知赤十字病院
沼津市立病院	関西医科大学附属枚方病院	久留米大学病院高度救命救急センター
静岡赤十字病院	堺市立総合医療センター	飯塚病院
静岡県立こども病院	兵庫県立西宮病院	健和会大手町病院
静岡済生会総合病院	兵庫県立加古川医療センター	北九州市立八幡病院
順天堂大学医学部附属静岡病院	兵庫県立淡路病院	九州大学病院
聖隷三方ヶ原病院	兵庫医科大学病院	北九州総合病院
静岡県立総合病院	神戸市立医療センター中央市民病院	小倉記念病院
静岡徳洲会病院	神戸大学医学部附属病院	福岡和白病院
掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター	兵庫県災害医療センター	福岡赤十字病院
豊橋市民病院	公立豊岡病院但馬救命救急センター	(独)国立病院機構 福岡東医療センター
総合大雄会病院	公立村岡病院	済生会福岡総合病院
藤田保健衛生大学	関西労災病院	福岡大学病院
名古屋市立大学病院	製鉄記念広畑病院姫路救命救急センター	雪ノ聖母会聖マリア病院
半田市立半田病院	奈良県立奈良病院	新行橋病院
愛知医科大学医学部附属病院	奈良県立医科大学	佐賀大学医学部附属病院
名古屋掖済会病院	和歌山県立医科大学附属病院	佐賀県医療センター好生館
社会保険中京病院	鳥取大学医学部付属病院	(独)国立病院機構 嬉野医療センター
岡崎市民病院	島根大学医学部附属病院	長崎大学病院
春日井市民病院	津山中央病院救命救急センター	(独)国立病院機構 長崎医療センター
小牧市民病院	川崎医科大学附属病院	荒尾市民病院
三重大学医学部付属病院	倉敷中央病院	熊本赤十字病院
近江八幡市立総合医療センター	岡山大学病院	(独)国立病院機構 熊本医療センター
済生会滋賀県病院	広島大学病院	済生会熊本病院
京都第二赤十字病院	(独)国立病院機構 呉医療センター中国がんセンター	大分大学医学部附属病院
(独)国立病院機構 京都医療センター	福山市民病院	大分市医師会立アルメイダ病院
洛和会音羽病院	県立広島病院	県立宮崎病院
市立福知山市民病院地域救命救急センター	中国労災病院	宮崎大学医学部附属病院
京都第一赤十字病院	(独)国立病院機構 関門医療センター	宮崎善仁会病院
徳洲会宇治徳洲会病院	徳山中央病院	都城市郡医師会病院
京都府立医科大学	山口県立総合医療センター	大隅鹿屋病院
大阪府泉州救命救急センター	山口大学医学部附属病院	鹿児島市立病院
大阪府済生会千里病院千里救命救急センター	徳島県立海部病院	米盛病院
大阪府立急性期・総合医療センター	徳島県立中央病院	沖縄県立中部病院
阪和記念病院	徳島県立三好病院	沖縄県立北部病院
(独)国立病院機構 大阪医療センター	徳島赤十字病院	琉球大学医学部附属病院
大阪府立中河内救命救急センター	倚山会田岡病院	浦添総合病院
大阪府三島救命救急センター	香川大学医学部附属病院	中頭病院
近畿大学医学部附属病院	香川県立中央病院	豊見城中央病院
岸和田徳洲会病院	愛媛県立中央病院	
大阪大学医学部附属病院	愛媛大学医学部附属病院救急部	
大阪市立総合医療センター	高知医療センター	
関西医科大学附属滝井病院	近森病院	

Figure
2

地方別JTDB参加施設数

施設数

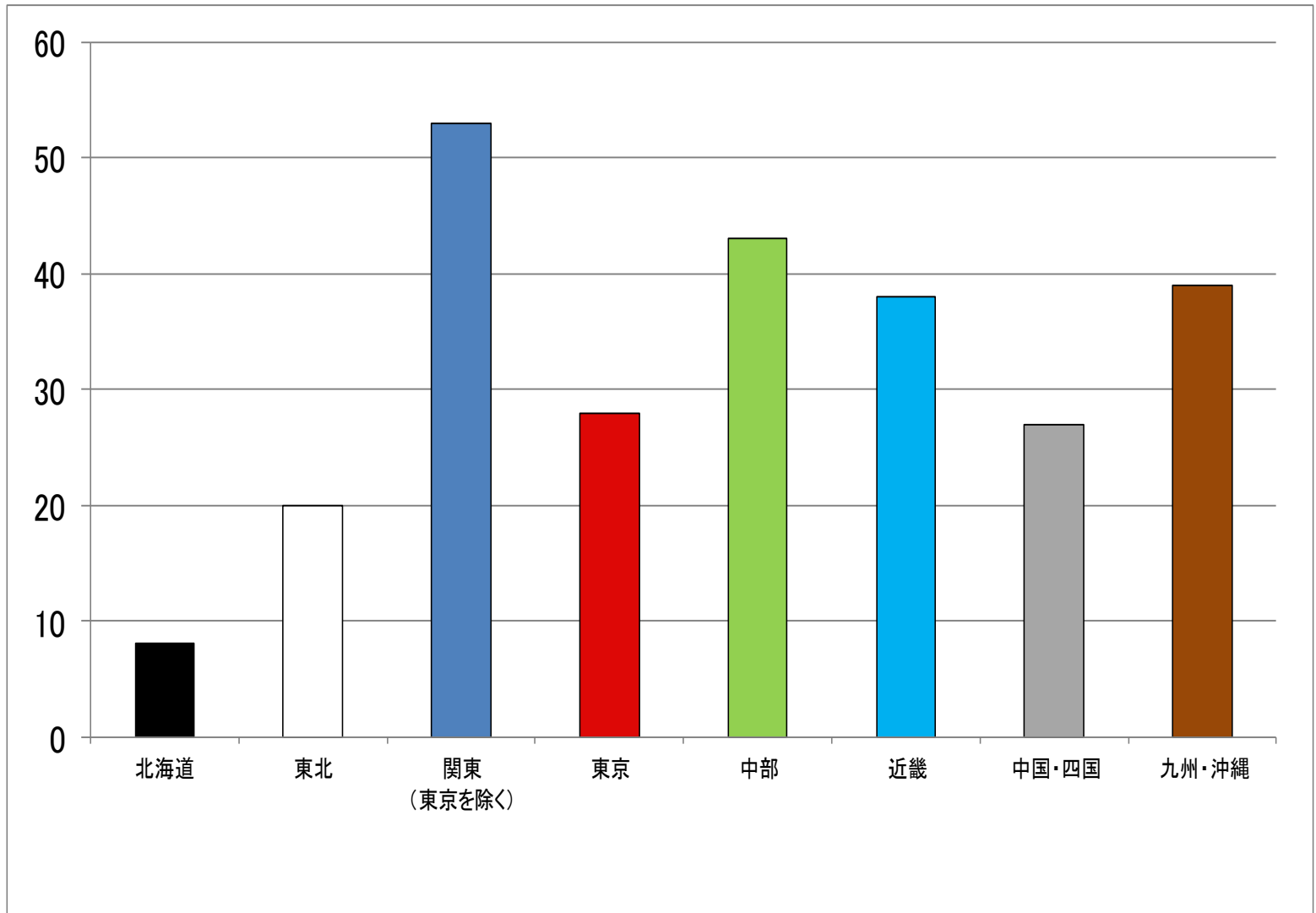
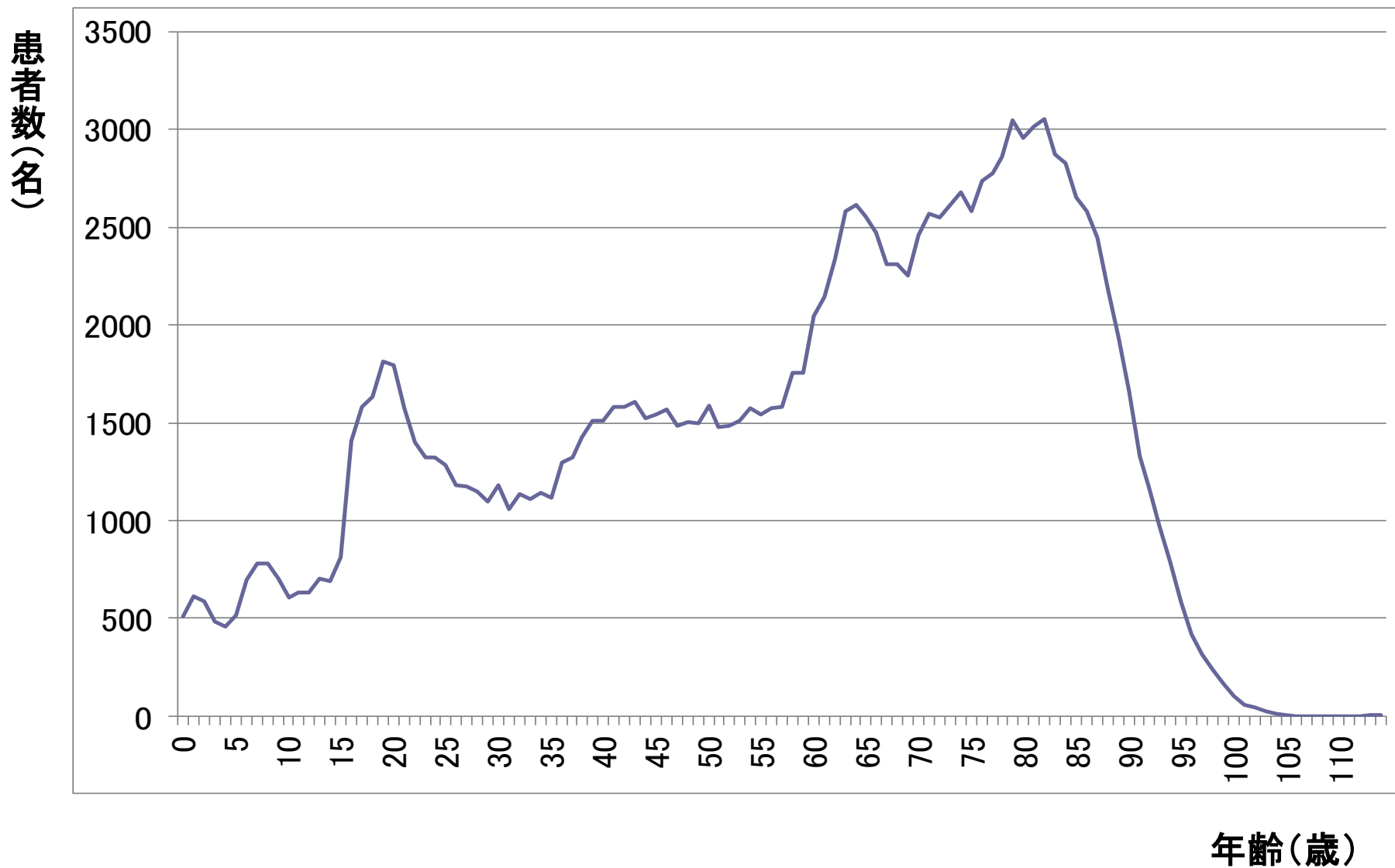


Figure
3

全症例年齢分布



Figure

4

性別年齢分布

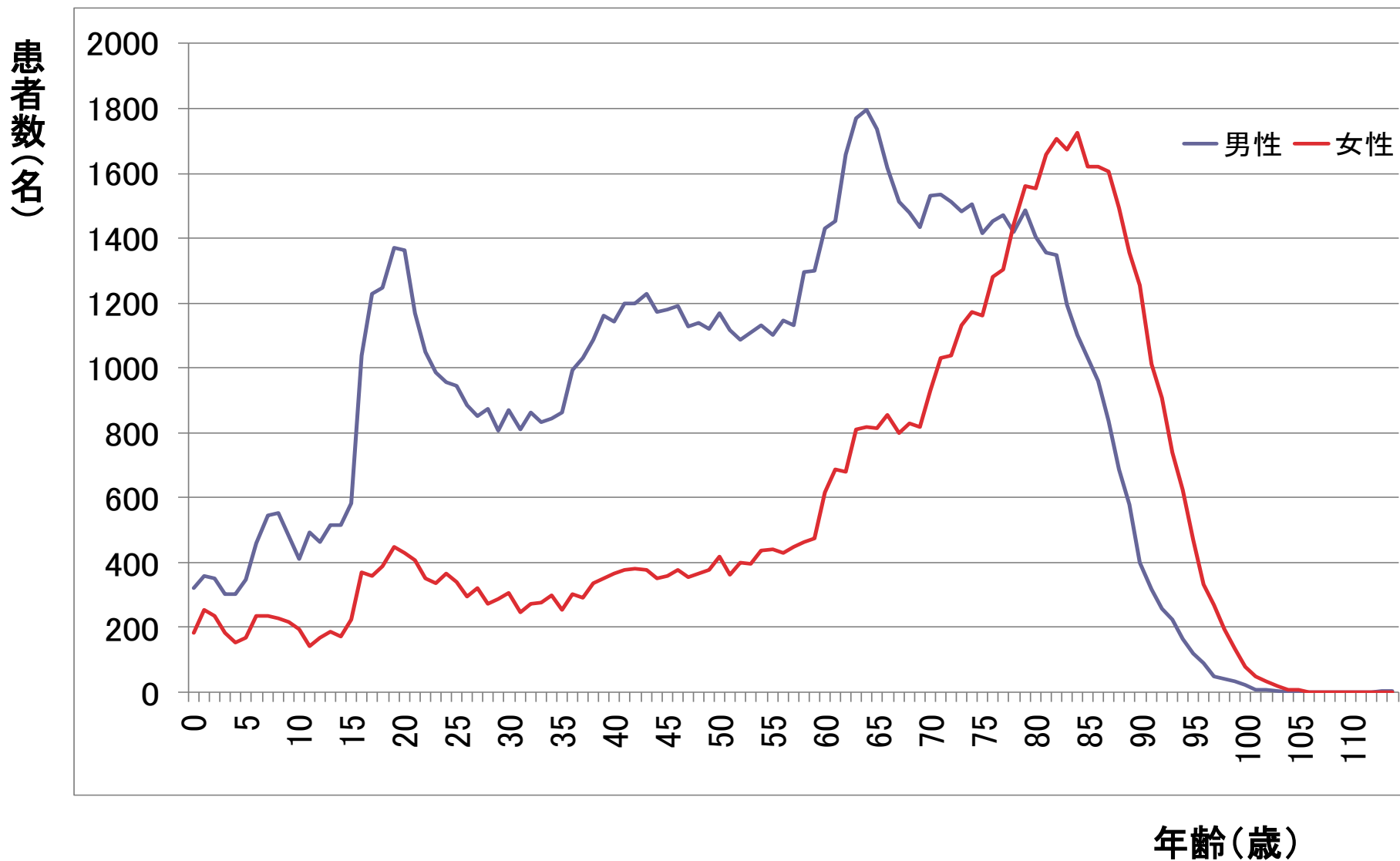


Figure
5

受傷機転別の患者数

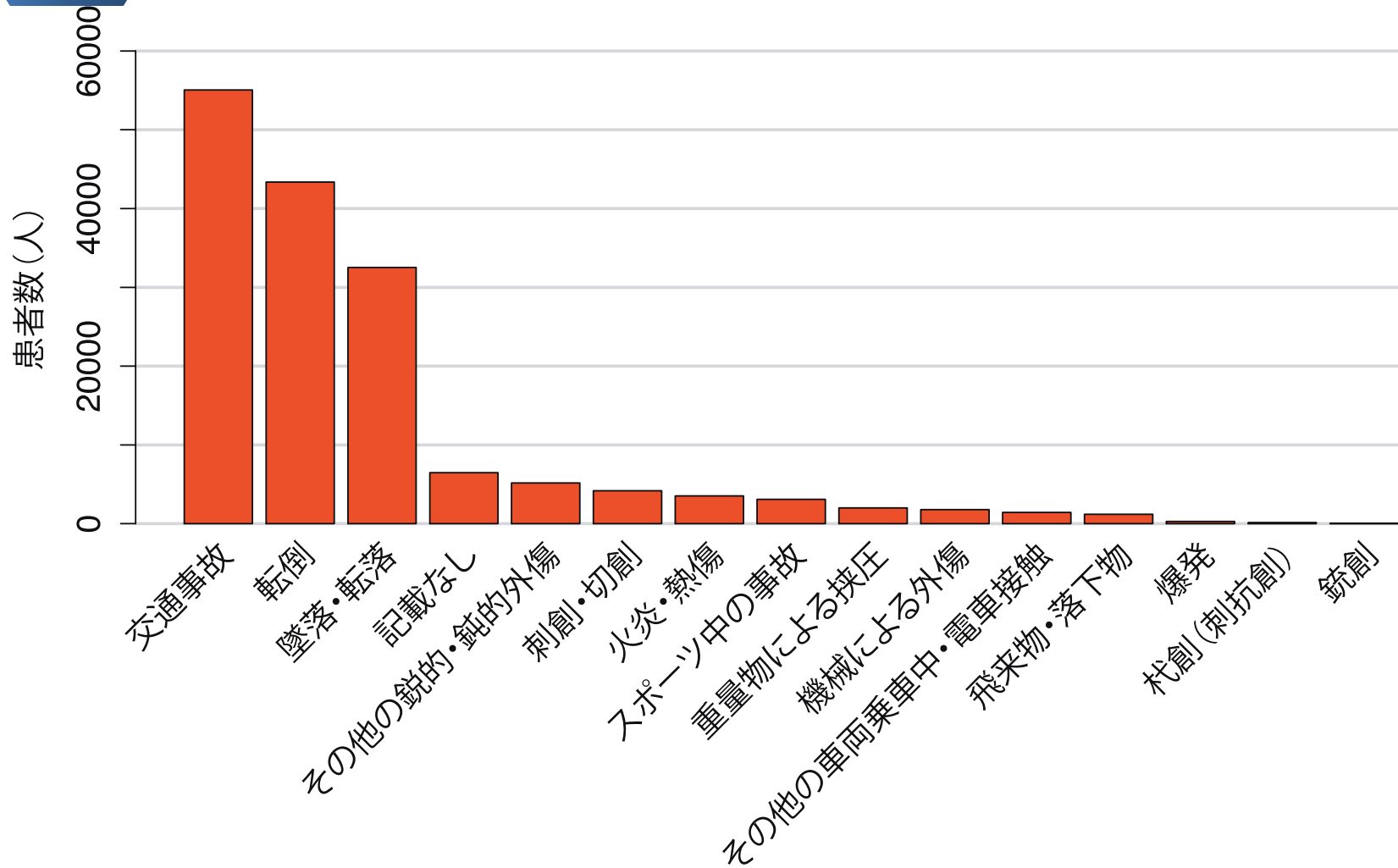


Table
5

受傷機転別の患者数の割合

受傷機転	患者数（人）	受傷機転別患者数の割合（%）
交通事故	55047	34.3
転倒	43355	27.0
墜落・転落	32515	20.3
記載なし	6486	4.0
その他の鋭的、鈍的損傷	5172	3.2
刺創・切創	4179	2.6
火炎 / 熱傷	3526	2.2
スポーツ中の事故	3105	1.9
重量物による挟圧	2013	1.3
機械による外傷	1789	1.1
その他の車両事故	1425	0.9
落下物、飛来物	1205	0.8
爆発	294	0.2
杵創（刺杭創）	150	0.1
銃創	33	0.0

Figure
6

受傷機転別患者数の年齢分布

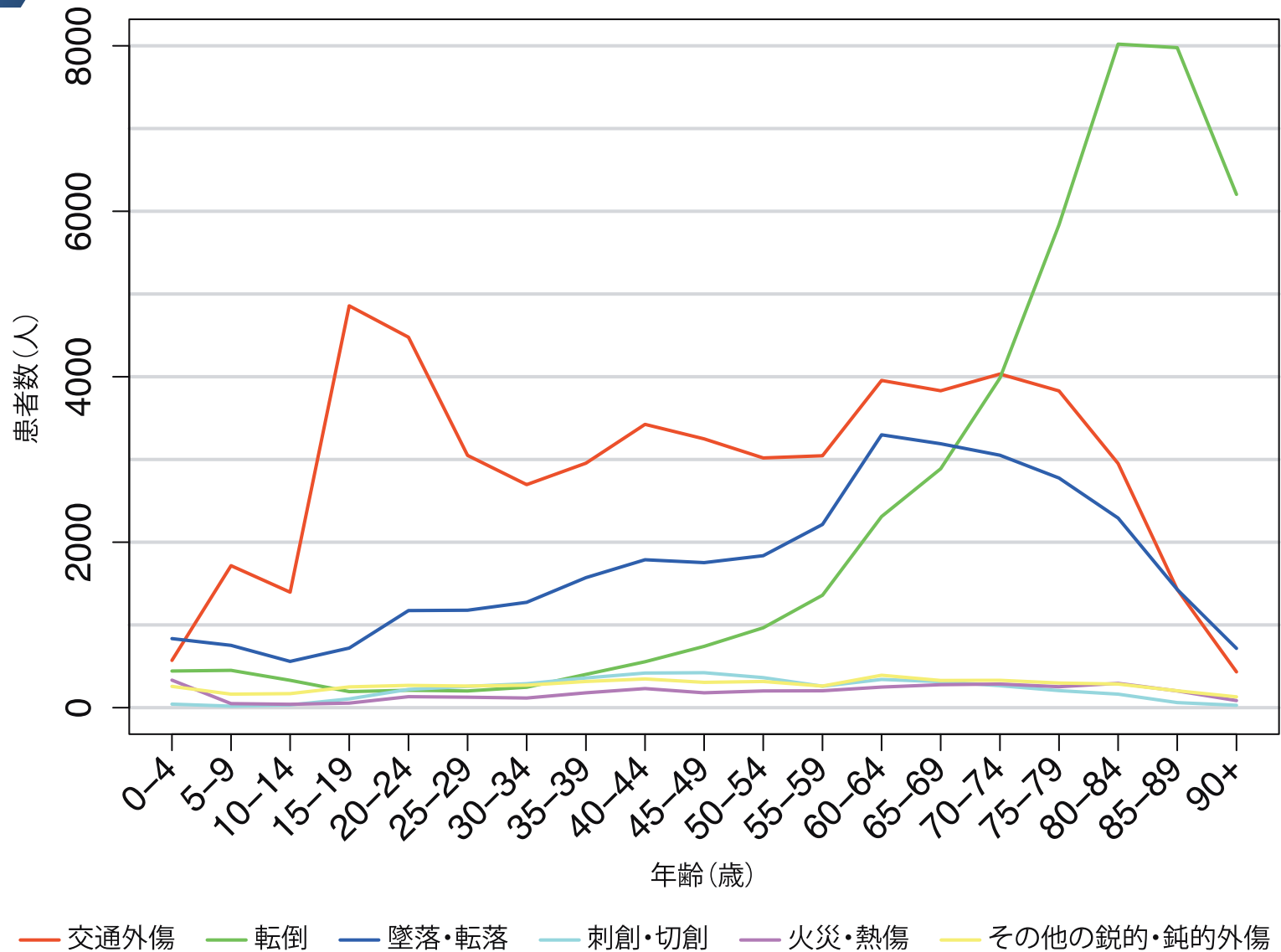


Table
6

受傷機転別患者数の年齢分布

年齢(歳)	交通外傷(人(%))	転倒(人(%))	墜落・転落(人(%))	刺創・切創(人(%))	火災・熱傷(人(%))	その他の鋭的・鈍的外傷 (人(%))
0-4	571 (1.0)	442 (1.0)	835 (2.6)	43 (1.0)	332 (9.4)	256 (4.9)
5-9	1717 (3.1)	451 (1.0)	753 (2.3)	19 (0.5)	49 (1.4)	164 (3.2)
10-14	1396 (2.5)	331 (0.8)	558 (1.7)	33 (0.8)	40 (1.1)	169 (3.3)
15-19	4856 (8.8)	194 (0.4)	720 (2.2)	105 (2.5)	55 (1.6)	251 (4.9)
20-24	4477 (8.1)	210 (0.5)	1174 (3.6)	220 (5.3)	132 (3.7)	270 (5.2)
25-29	3048 (5.5)	202 (0.5)	1178 (3.6)	256 (6.1)	126 (3.6)	261 (5.0)
30-34	2696 (4.9)	247 (0.6)	1273 (3.9)	289 (6.9)	117 (3.3)	272 (5.3)
35-39	2954 (5.4)	402 (0.9)	1572 (4.8)	360 (8.6)	180 (5.1)	316 (6.1)
40-44	3425 (6.2)	554 (1.3)	1787 (5.5)	419 (10.0)	230 (6.5)	346 (6.7)
45-49	3249 (5.9)	740 (1.7)	1753 (5.4)	423 (10.1)	179 (5.1)	307 (5.9)
50-54	3018 (5.5)	966 (2.2)	1836 (5.6)	363 (8.7)	201 (5.7)	316 (6.1)
55-59	3044 (5.5)	1360 (3.1)	2215 (6.8)	259 (6.2)	203 (5.8)	261 (5.0)
60-64	3954 (7.2)	2309 (5.3)	3297 (10.1)	340 (8.1)	248 (7.0)	392 (7.6)
65-69	3831 (7.0)	2887 (6.7)	3189 (9.8)	314 (7.5)	277 (7.9)	329 (6.4)
70-74	4032 (7.3)	3984 (9.2)	3051 (9.4)	265 (6.3)	285 (8.1)	330 (6.4)
75-79	3829 (7.0)	5836 (13.5)	2775 (8.5)	206 (4.9)	254 (7.2)	298 (5.8)
80-84	2951 (5.4)	8021 (18.5)	2291 (7.0)	164 (3.9)	293 (8.3)	286 (5.5)
85-89	1428 (2.6)	7977 (18.4)	1429 (4.4)	61 (1.5)	201 (5.7)	204 (3.9)
90+	432 (0.8)	6204 (14.3)	717 (2.2)	28 (0.7)	86 (2.4)	131 (2.5)
記載なし	139 (0.3)	38 (0.1)	112 (0.3)	12 (0.3)	38 (1.1)	13 (0.3)
合計	55047 (100.0)	43355 (100.0)	32515 (100.0)	4179 (100.0)	3526 (100.0)	5172 (100.0)

Figure
7

受傷機転別の死亡数

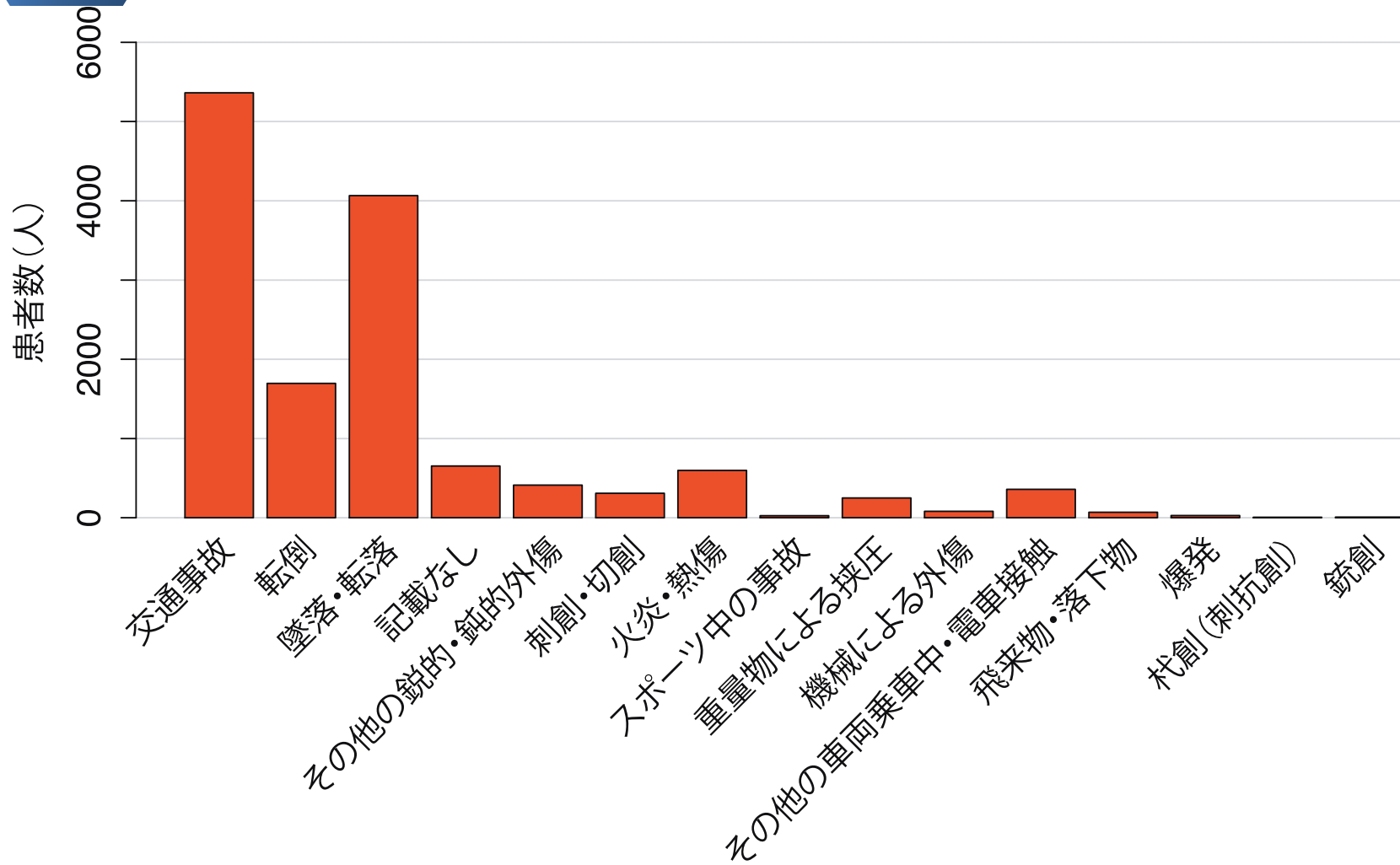


Figure
8

年齢別の患者死亡率

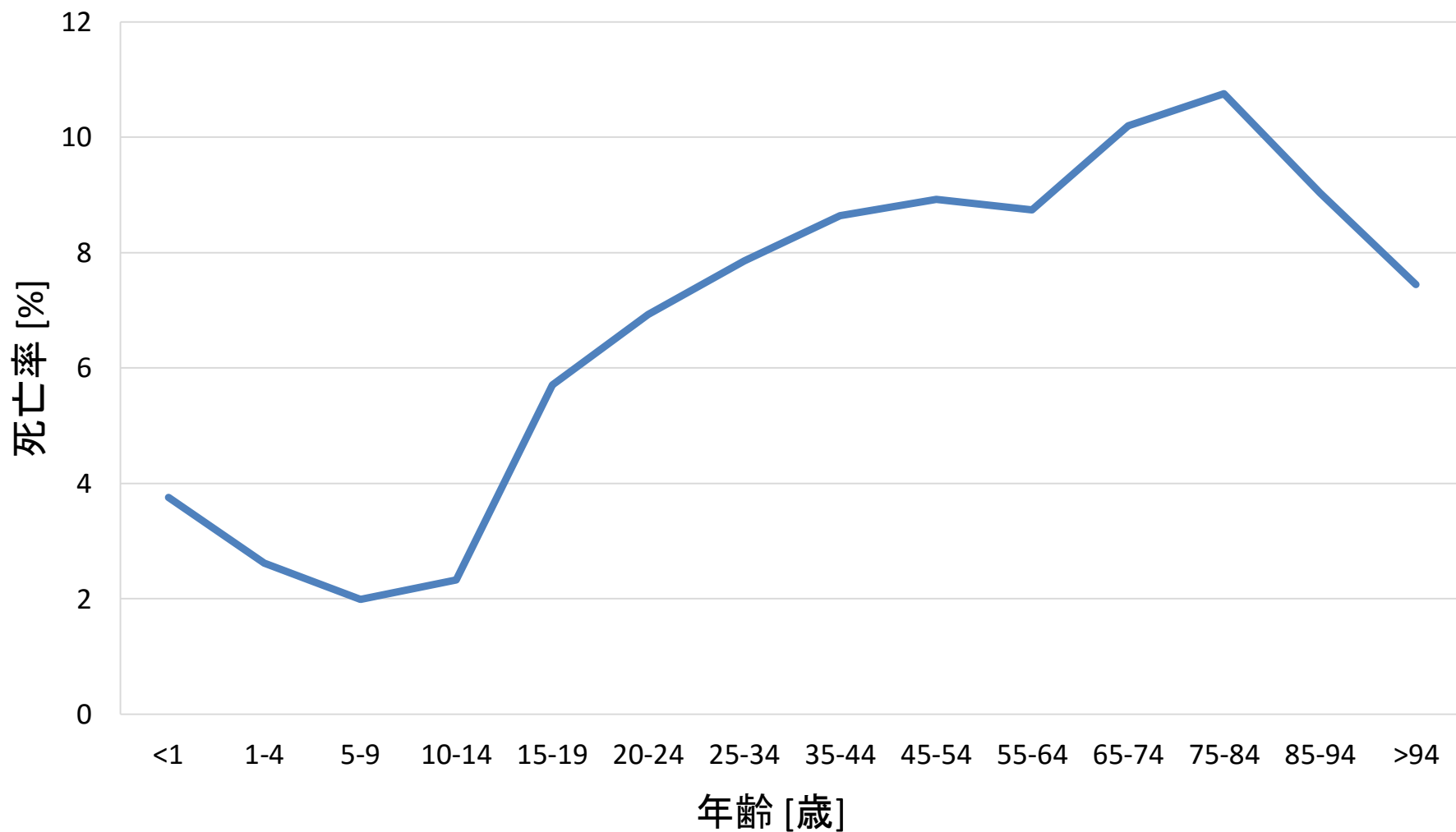


Figure
9

性別と年齢別の患者死亡率

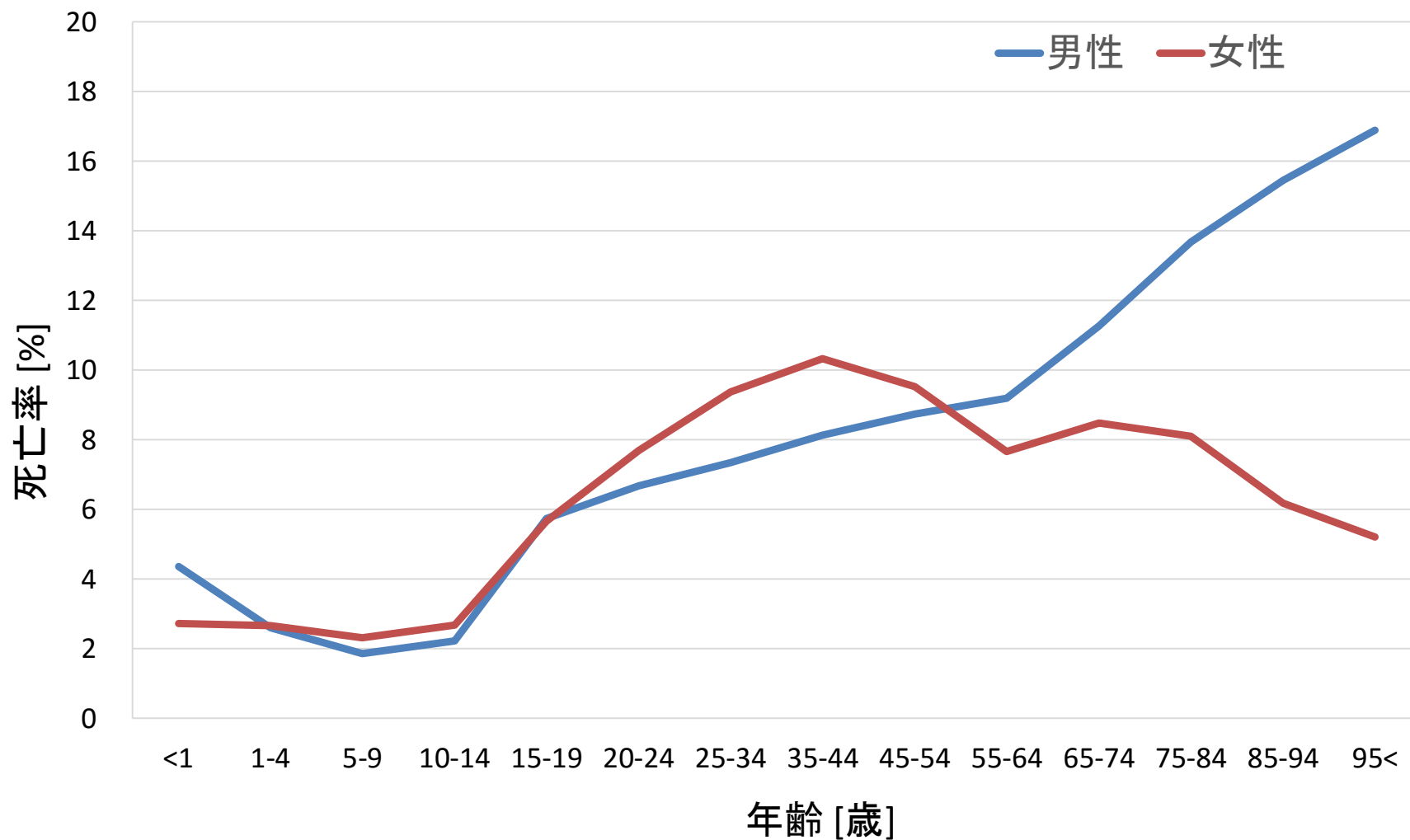


Figure
10

受傷機転と年齢別の患者死亡率

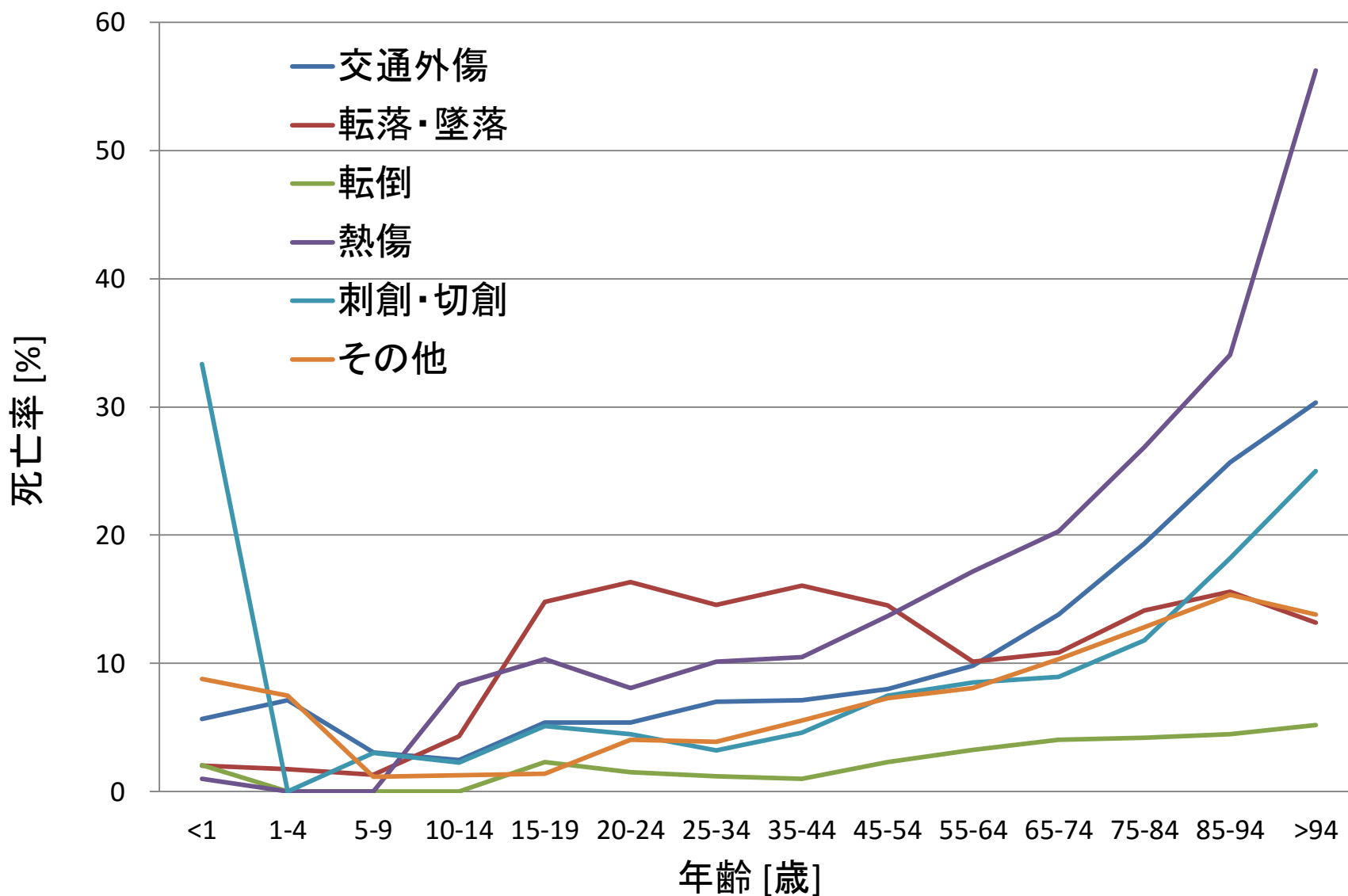
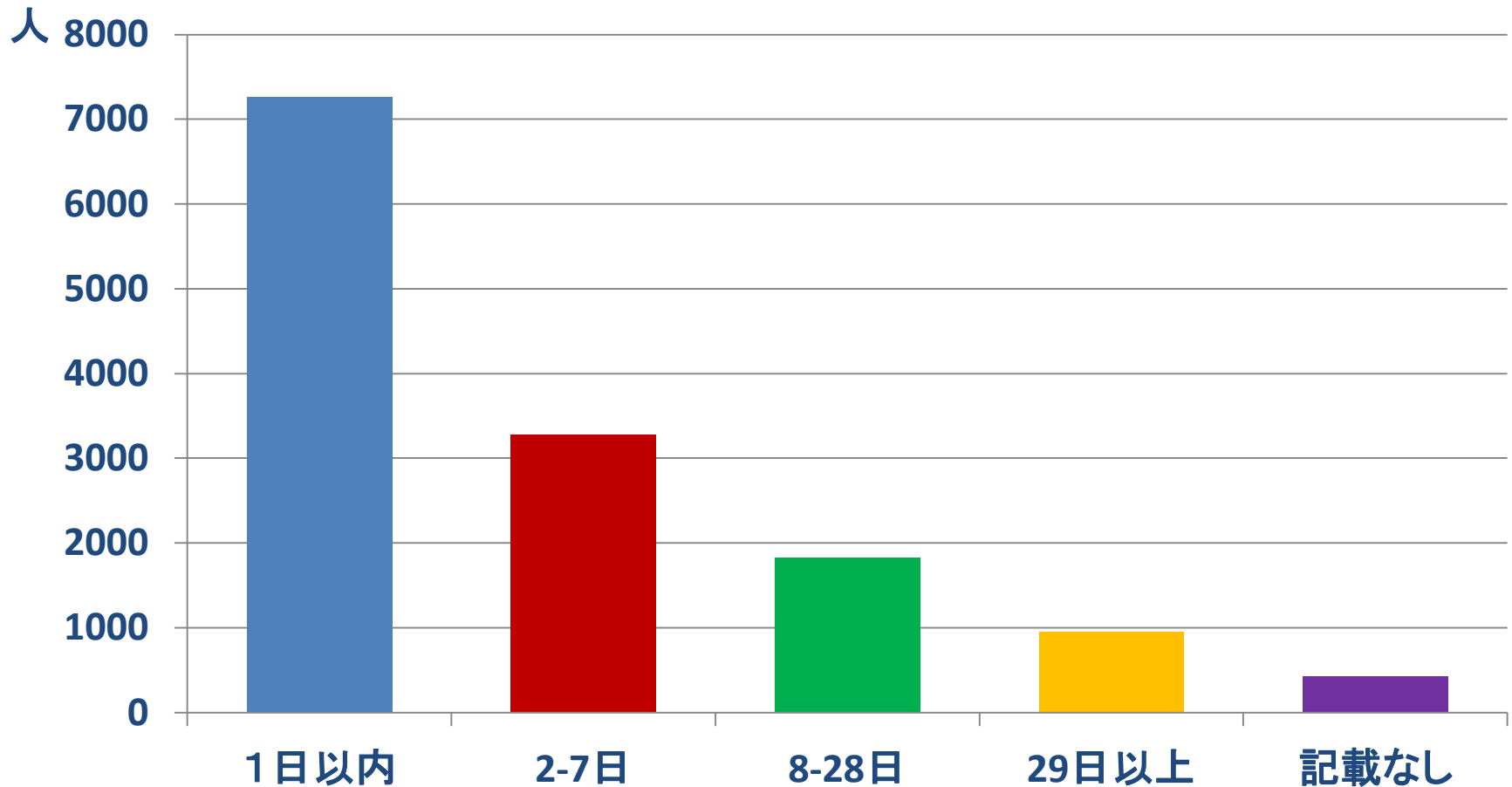


Figure
11A受傷から死亡までの入院期間と症例数 $n = 13,741$ 

「1日以内」には、来院時心肺停止症例と初療室での死亡を含む。

Figure
11B

受傷転機別の「受傷から死亡までの日数」の症例分布 n = 13,741

受傷機転

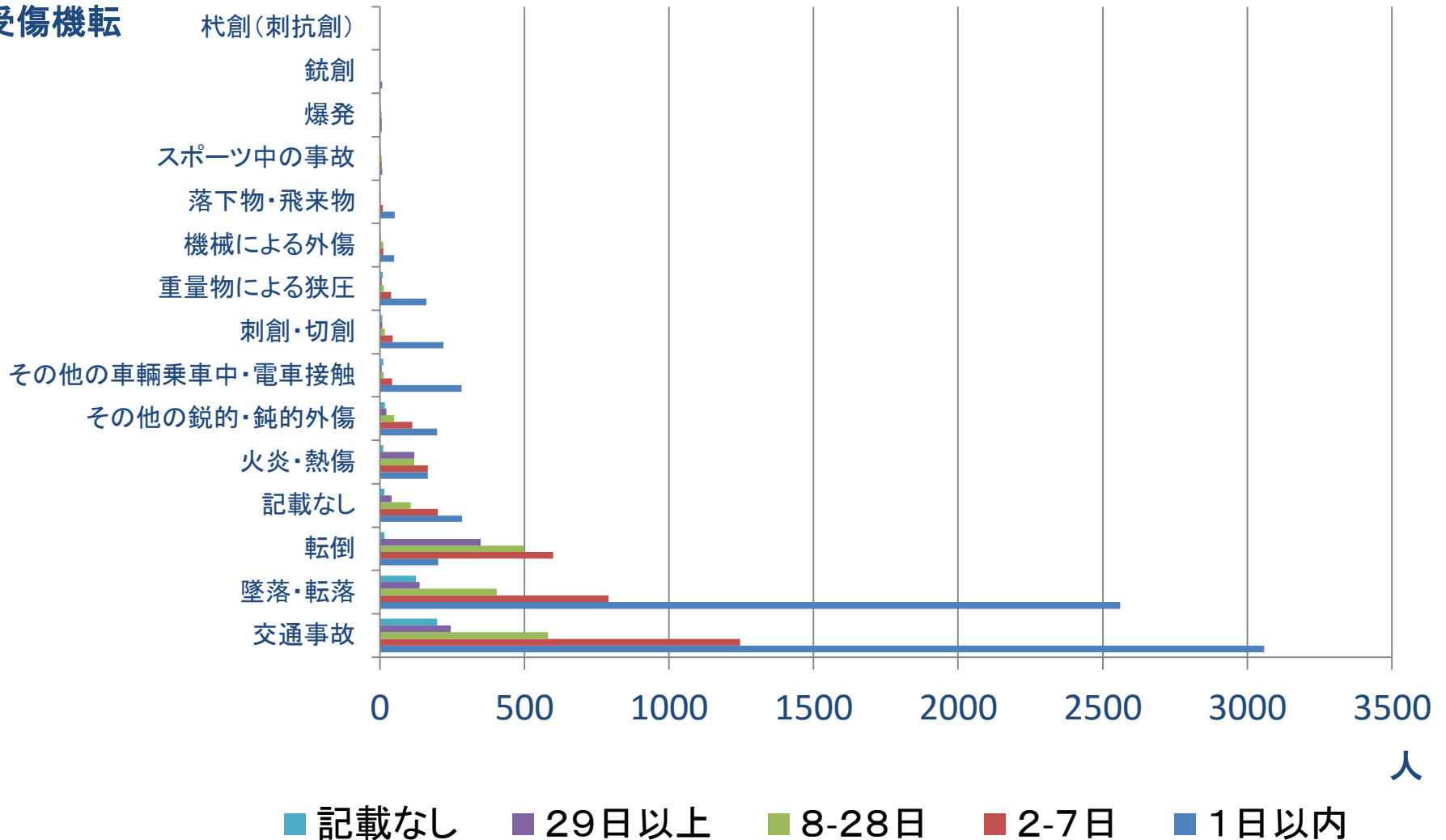


Table
11B

受傷転機別の「受傷から死亡までの日数」の症例分布 n = 13,741

受傷機転 入院日数	交通事故	墜落・転落	転倒	記載なし	火炎・熱傷	その他の 鋭的・鈍的 損傷	その他の車 輛乗車中・ 電車接触	刺創・切創
1日以内	3058	2560	202	284	167	199	283	220
2-7日	1246	791	599	200	166	113	42	45
8-28日	581	404	497	108	119	49	14	18
29日以上	245	138	349	41	119	23	6	9
記載なし	198	125	16	15	12	18	12	8
計	5328	4018	1663	648	583	402	357	300

	重要物 による狭圧	機械による 外傷	落下物・ 飛来物	スポーツ 中の事故	爆発	銃創	刺創(刺抗創)	計
1日以内	161	49	51	9	6	9	2	7260
2-7日	39	12	11	7	6	0	1	3278
8-28日	14	12	4	6	7	0	0	1833
29日以上	7	4	3	3	3	0	0	950
記載なし	11	0	2	1	2	0	0	420
計	232	77	71	26	24	9	3	13741

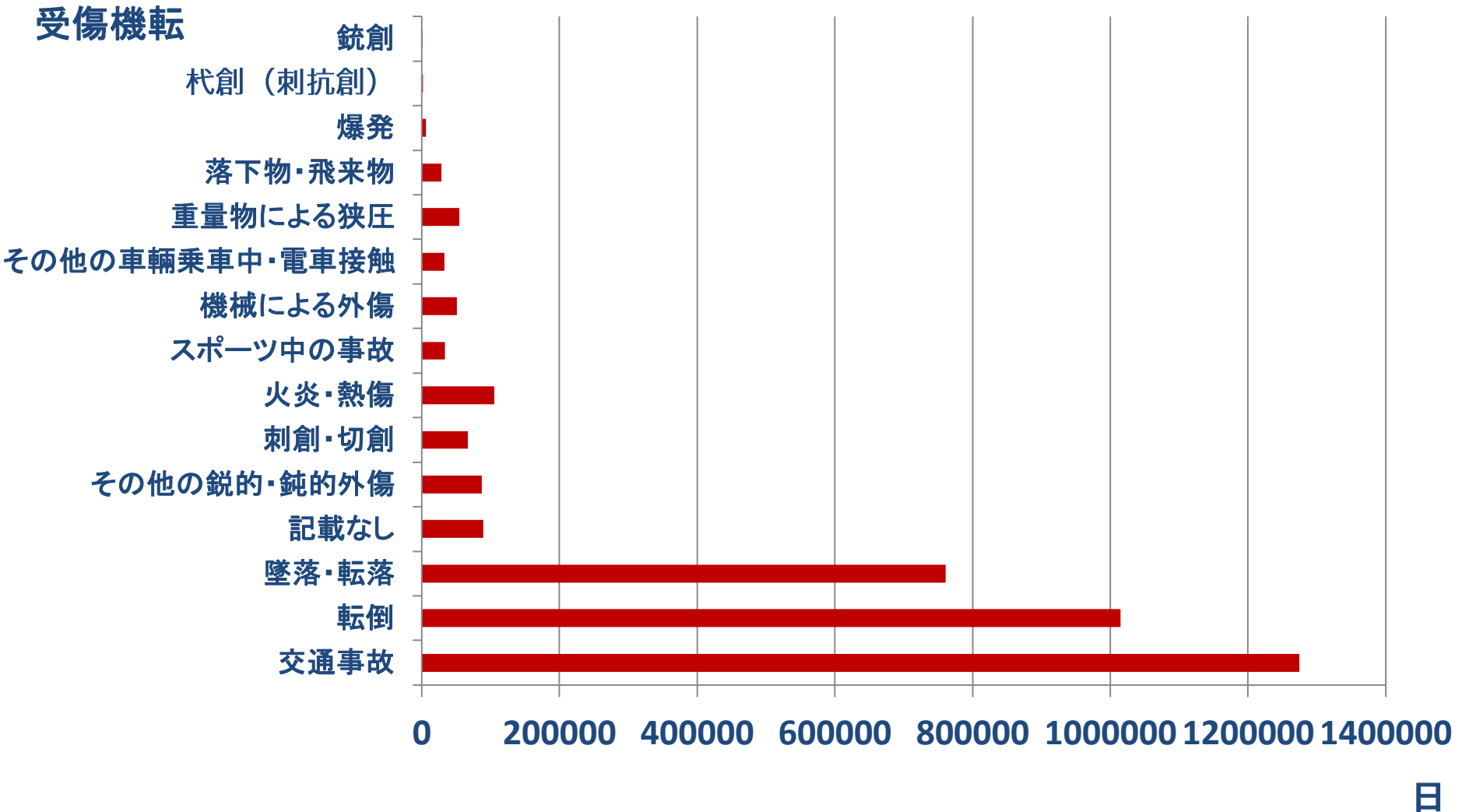
Figure
12**受傷転機別の累積入院日数 n = 143,211 総入院日数 3,609,255日**

Table
12

受傷機転別の症例数、累積入院日数、平均入院日数 n = 143,211

	症例数		累積入院日数	平均入院日数
交通事故	49,832	34.80%	1,274,738	25.6
転倒	39,442	27.54%	1,015,236	25.7
墜落・転落	30,058	20.99%	760,838	25.3
記載なし	4,234	2.96%	89,633	21.1
その他の鋭的・鈍的外傷	3,104	2.87%	87,445	21.3
刺創・切創	3,663	2.56%	66,665	18.2
火炎・熱傷	3,146	2.20%	105,355	33.5
スポーツ中の事故	2,586	1.81%	33,574	13.0
機械による外傷	1,580	1.10%	51,323	32.5
その他の車輛乗車中・電車接触	1,288	0.90%	32,680	25.4
重量物による狭圧	1,783	0.77%	54,365	30.5
落下物・飛来物	1,097	1.25%	28,549	26.0
爆発	249	0.17%	6,073	24.4
杵創(刺抗創)	121	0.08%	1,664	13.8
銃創	28	0.02%	1,117	39.9
計	143,211	—	3,609,255	25.2

Figure
13

受傷機転別の平均入院日数 n = 143,211

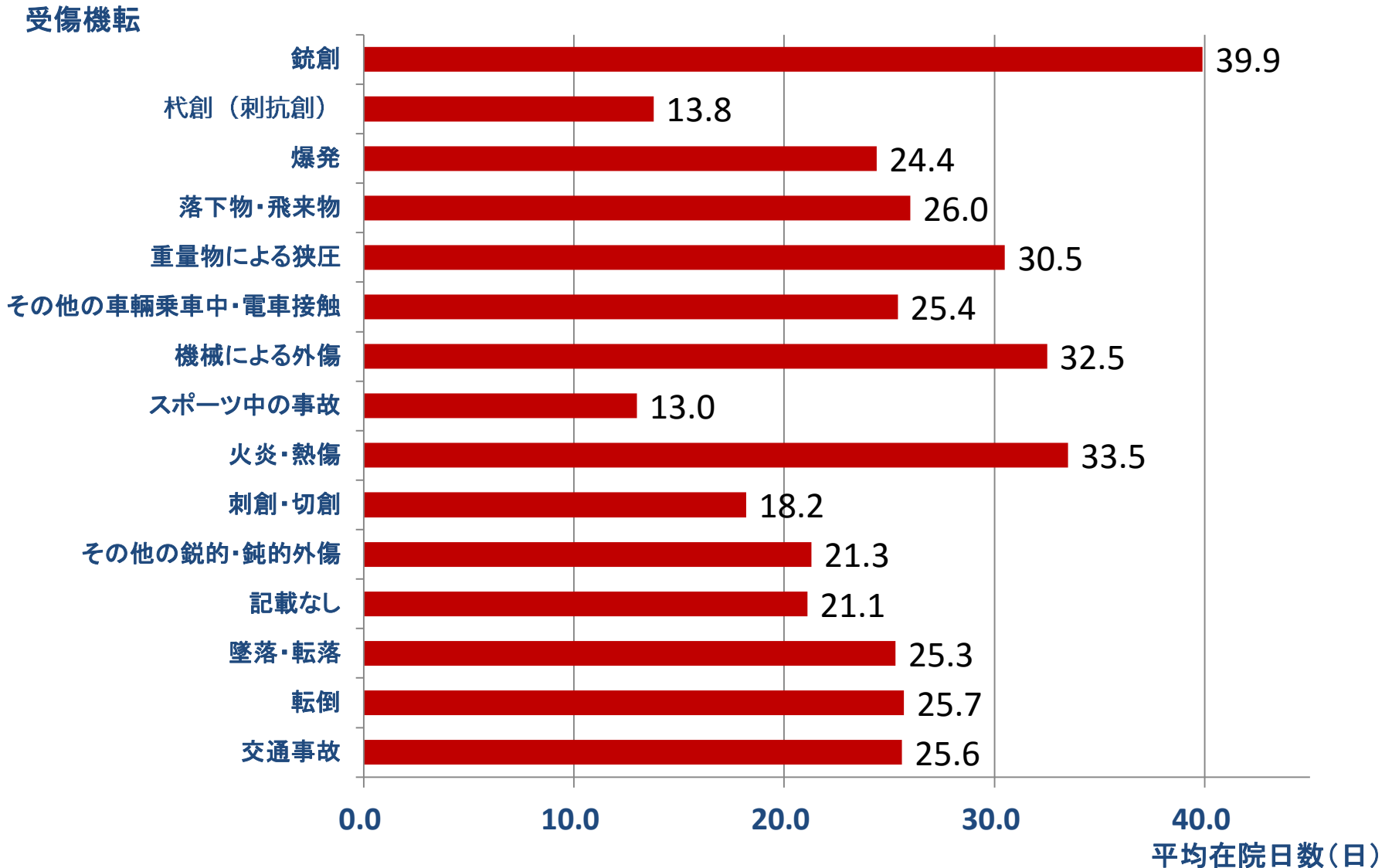


Figure
14

ISSカテゴリー別の症例数と割合

N= 158,818

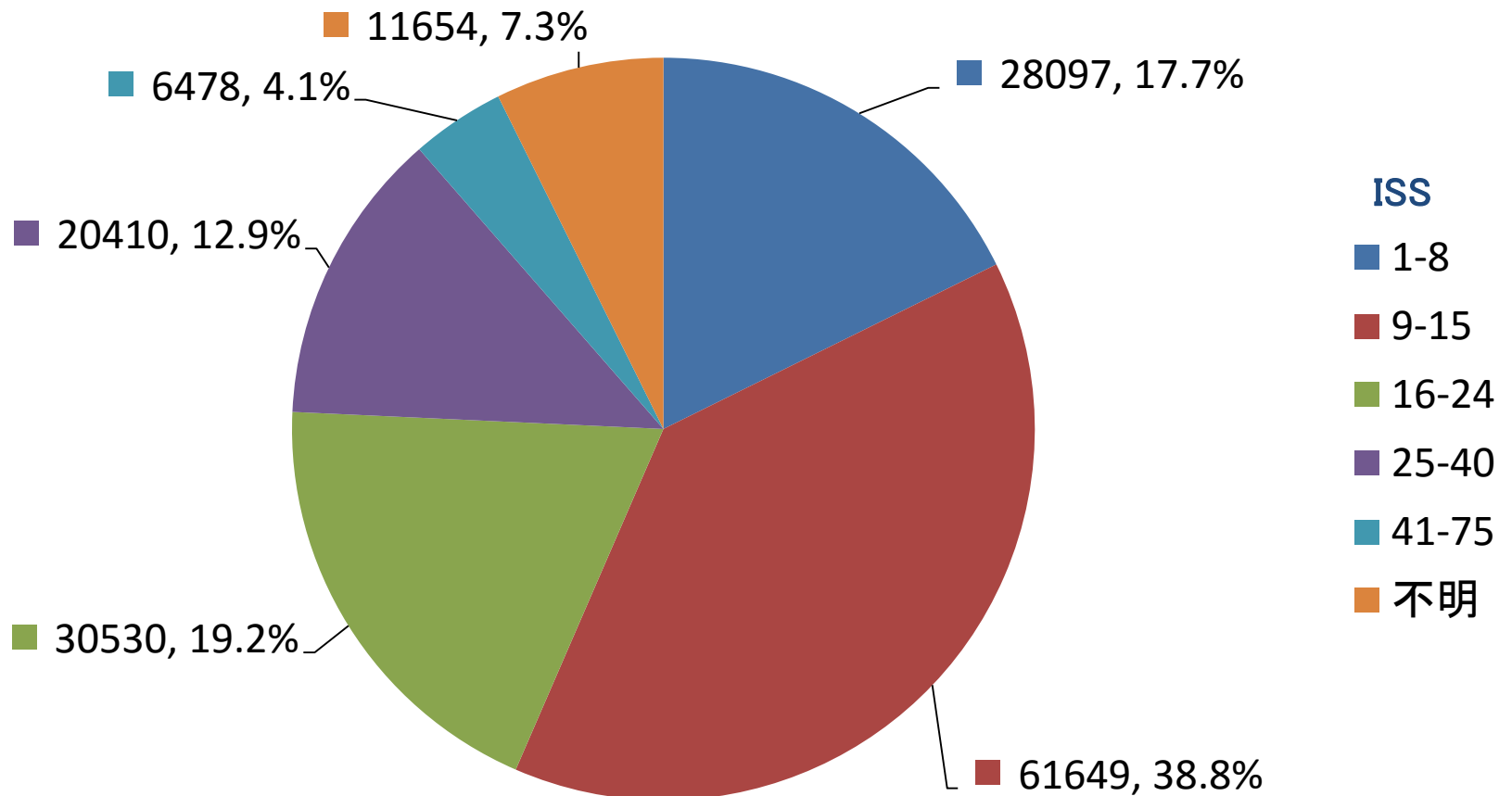


Figure
15

ISSカテゴリー別の症例数の年齢分布

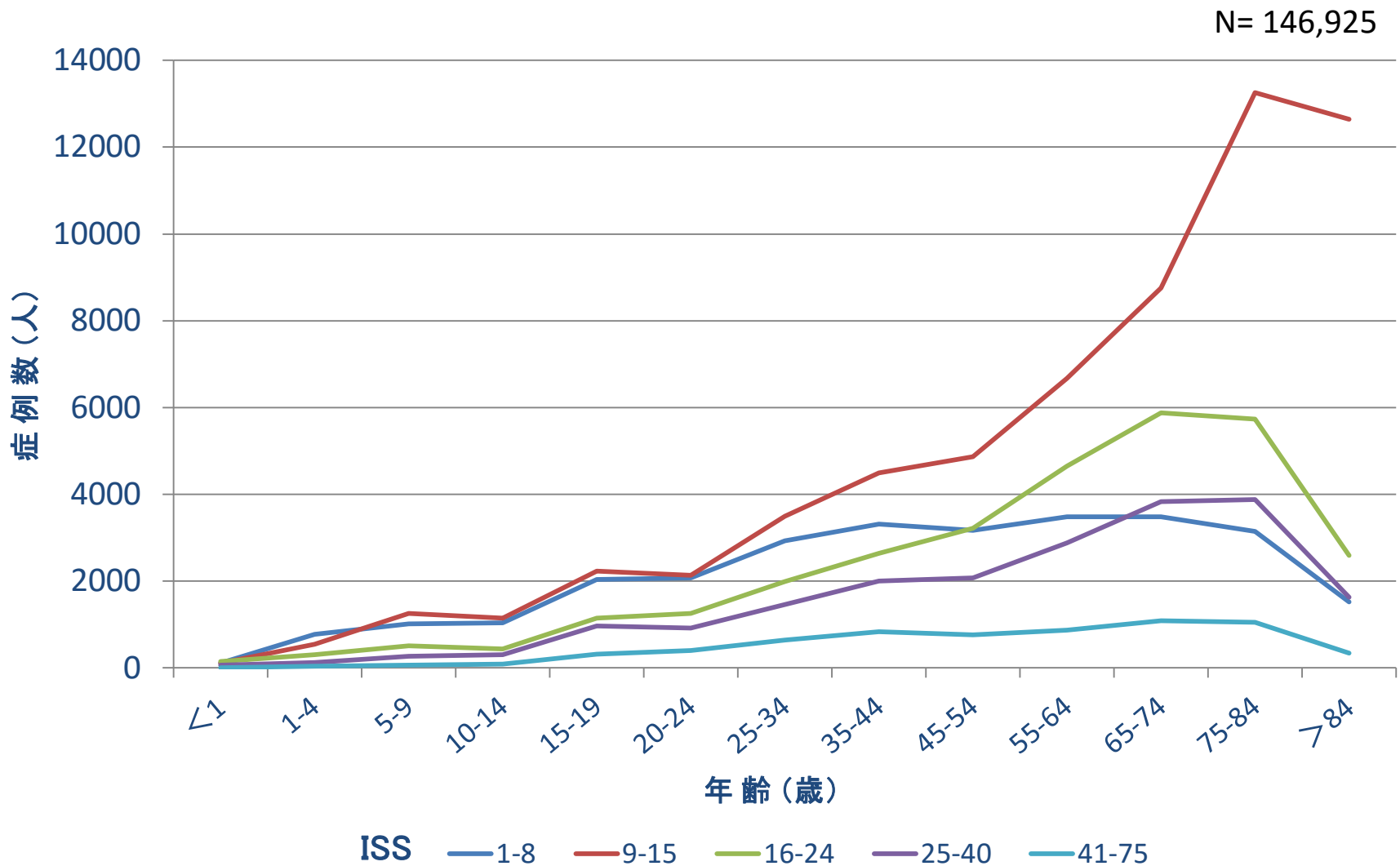


Table
15

ISSカテゴリー別の症例数の年齢分布

年齢 ISS	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84	85-	不明	計
1-8	107	765	1014	1030	2038	2070	2927	3310	3165	3484	3480	3140	1513	54	28097
9-15	111	537	1252	1143	2222	2129	3498	4496	4859	6674	8753	13256	12645	74	61649
16-24	148	304	511	436	1143	1247	1993	2641	3211	4650	5879	5733	2595	39	30530
25-40	61	122	268	298	969	912	1458	1999	2071	2881	3834	3879	1626	32	20410
41-75	3	34	55	79	317	399	642	825	757	866	1080	1043	338	40	6478
不明	76	380	373	278	563	658	976	1191	1160	1402	1753	1682	961	201	11654
計	506	2142	3473	3264	7252	7415	11494	14462	15223	19957	24779	28733	19678	440	158818

Figure
16A

ISSカテゴリー別の死亡数と割合

N= 13,819

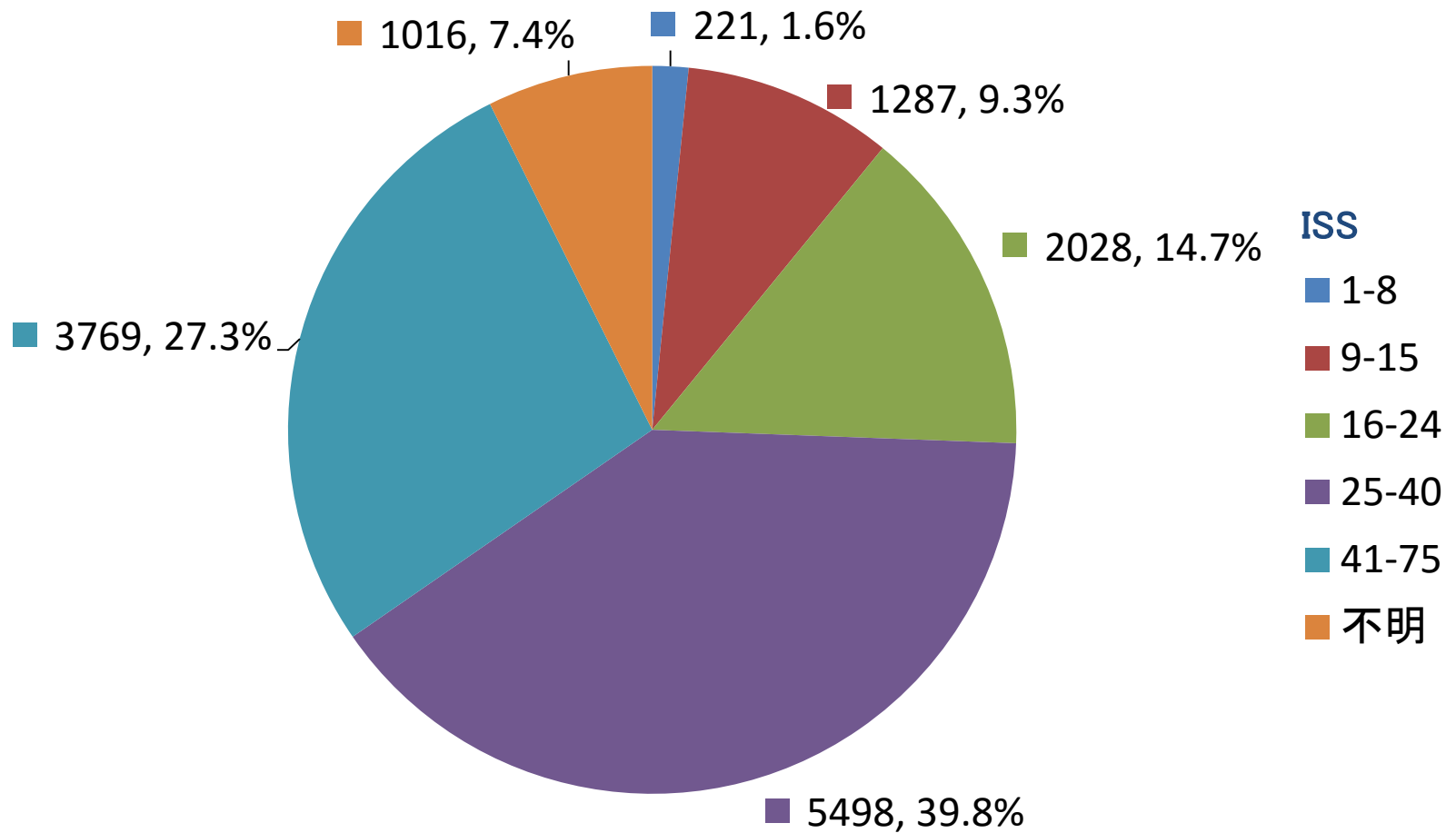


Figure
16B

ISSカテゴリー別の死亡率

N= 13,819

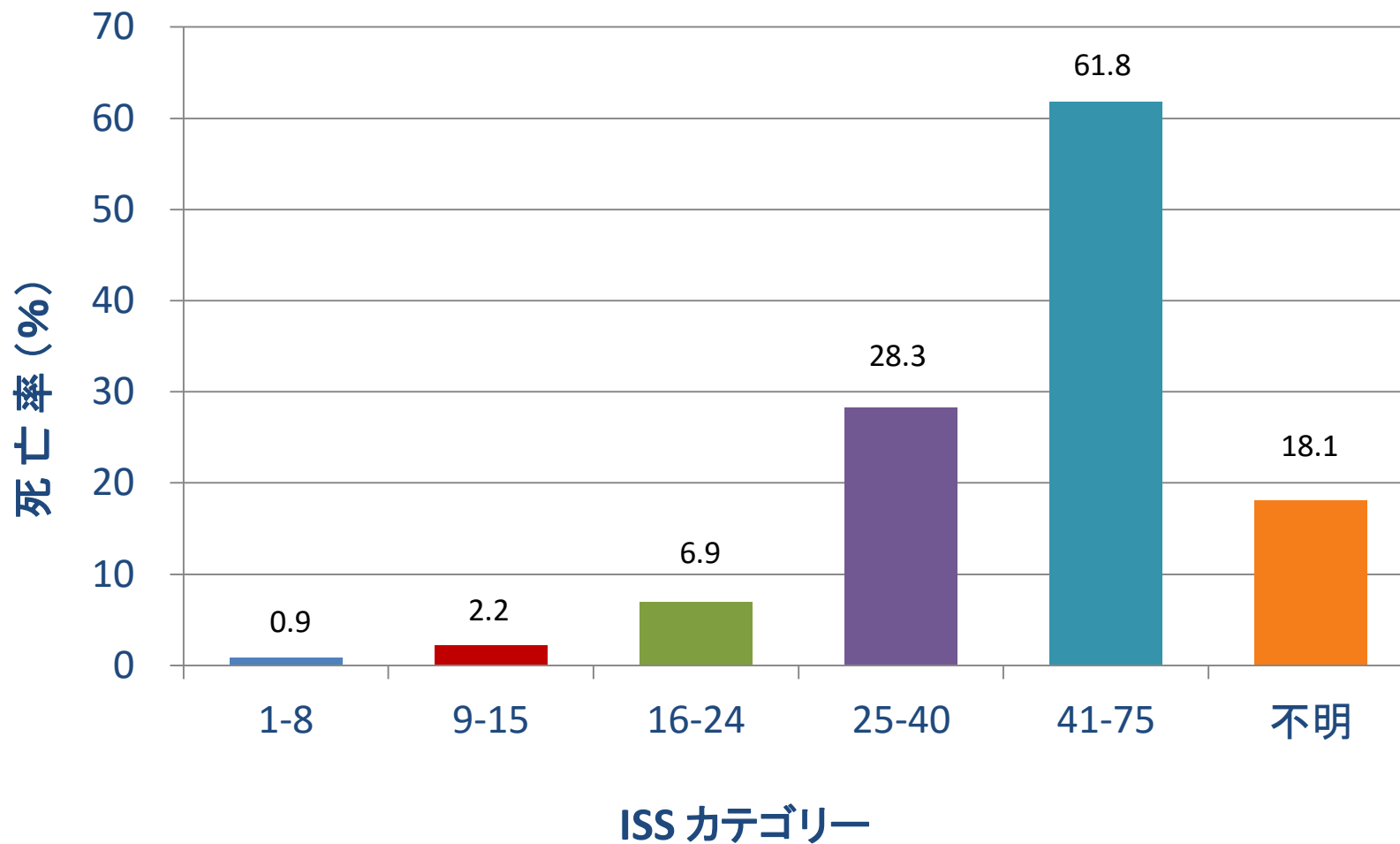


Figure
17

ISSカテゴリー別死亡数の年齢分布

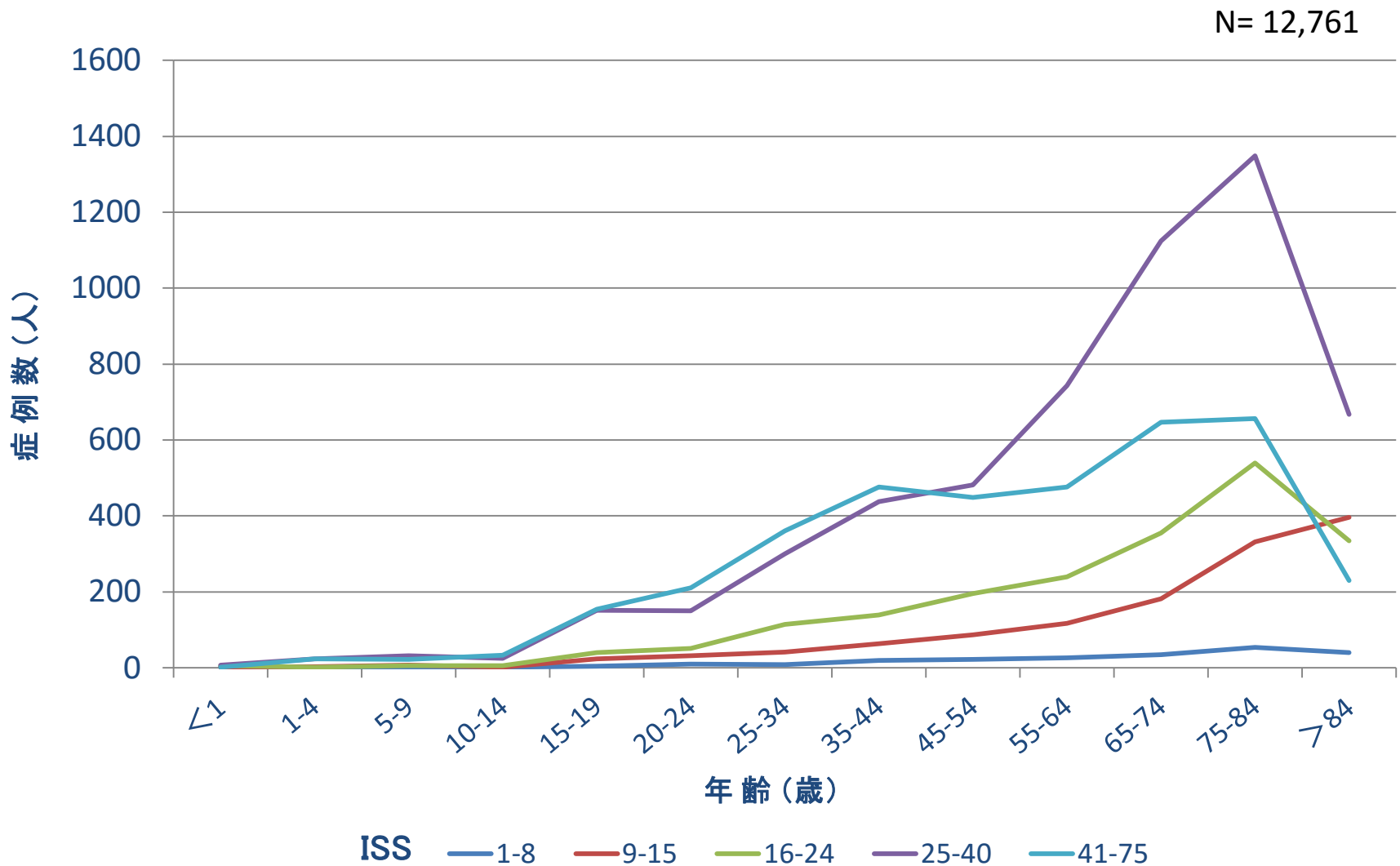


Table
17

ISSカテゴリー別死亡数の年齢分布

ISS \ 年齢	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84	85-	不明	計
1-8	1	0	1	2	4	9	8	19	22	26	35	54	40	0	221
9-15	2	3	7	1	23	31	41	64	87	117	181	332	396	2	1287
16-24	5	2	6	6	40	51	114	139	195	239	355	539	334	3	2028
25-40	7	24	31	25	152	150	300	437	481	743	1124	1349	668	7	5498
41-75	1	24	22	33	154	210	361	476	448	476	647	657	230	30	3769
不明	3	3	2	9	41	63	79	115	126	143	186	159	78	9	1016
計	19	56	69	76	414	514	903	1250	1359	1744	2528	3090	1746	51	13819

Figure
18

ISS 15以下の死亡数の性別年齢分布

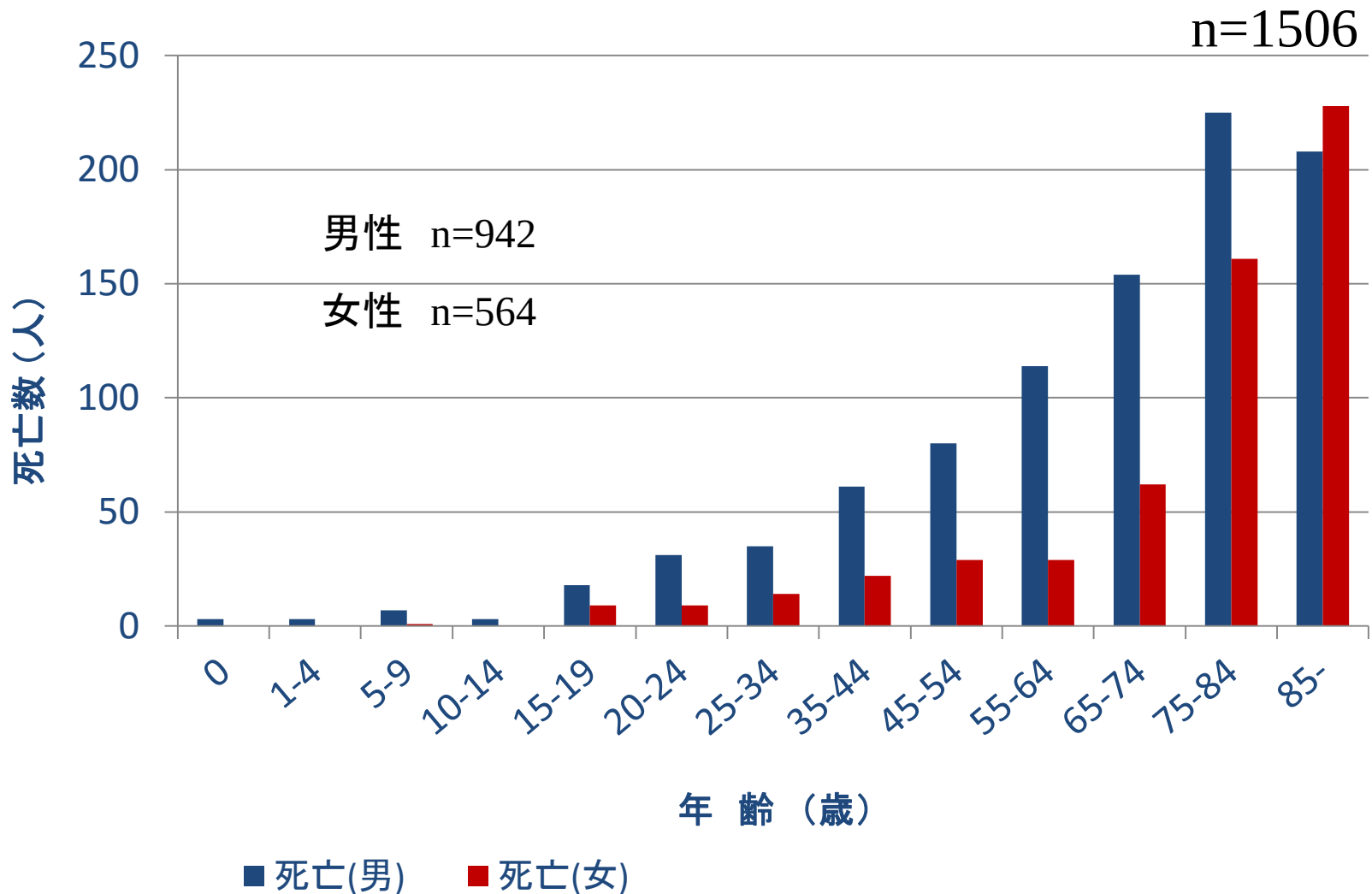


Figure
19

ISS 16以上の死亡数の性別年齢分布

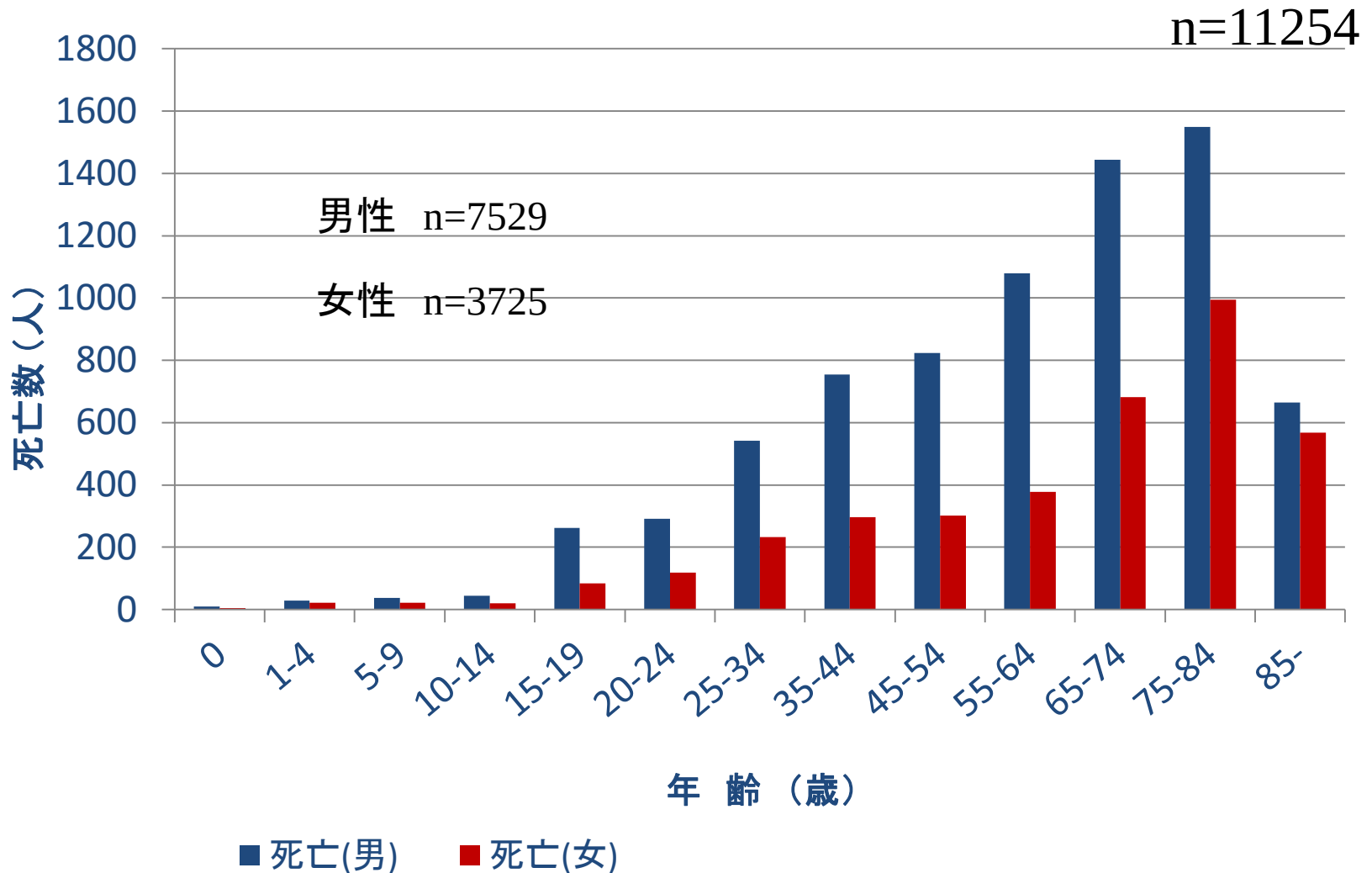


Figure
20A

ISS カテゴリー別の累積入院日数

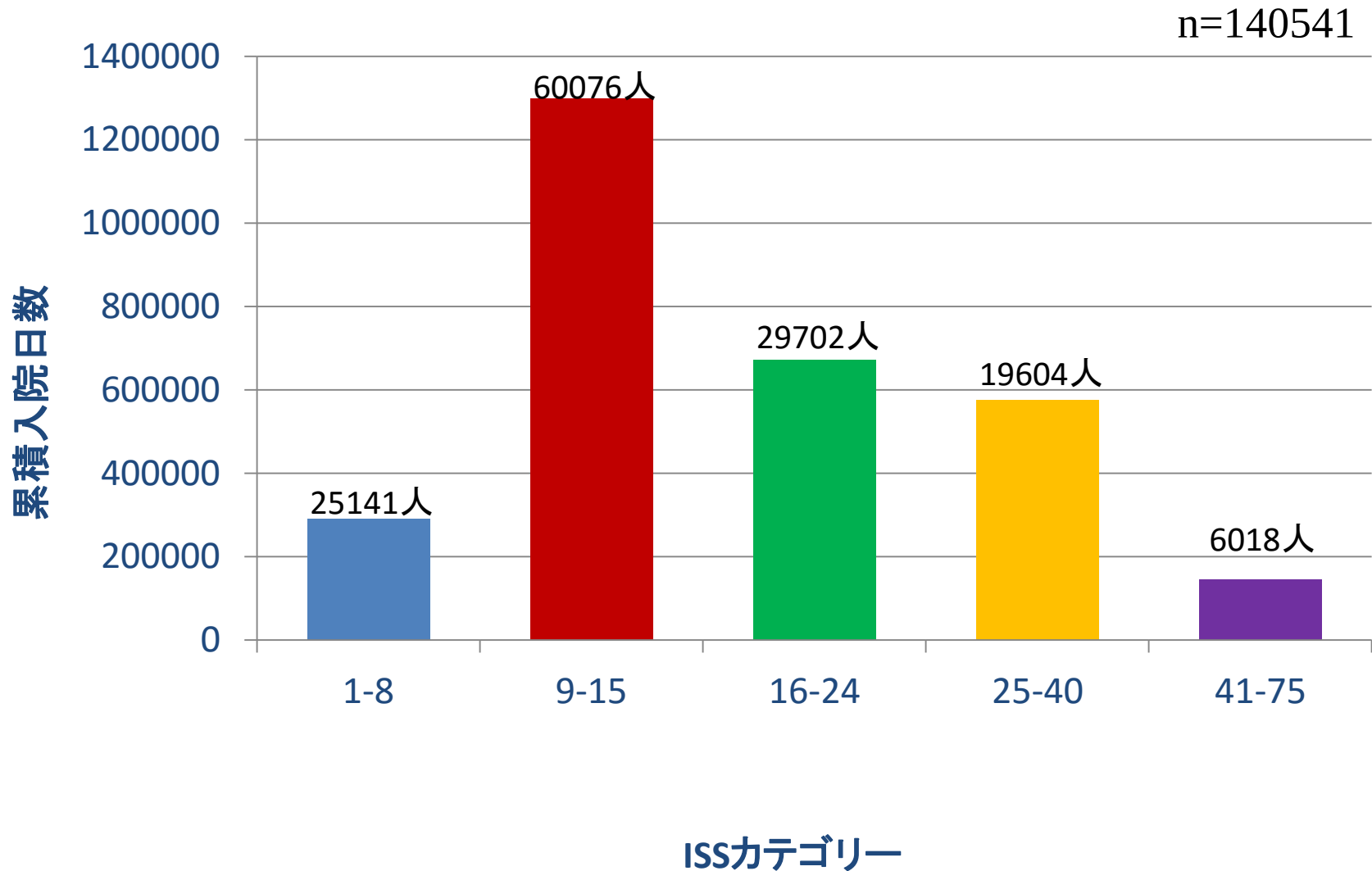


Figure
20B

ISS カテゴリー別の平均入院日数

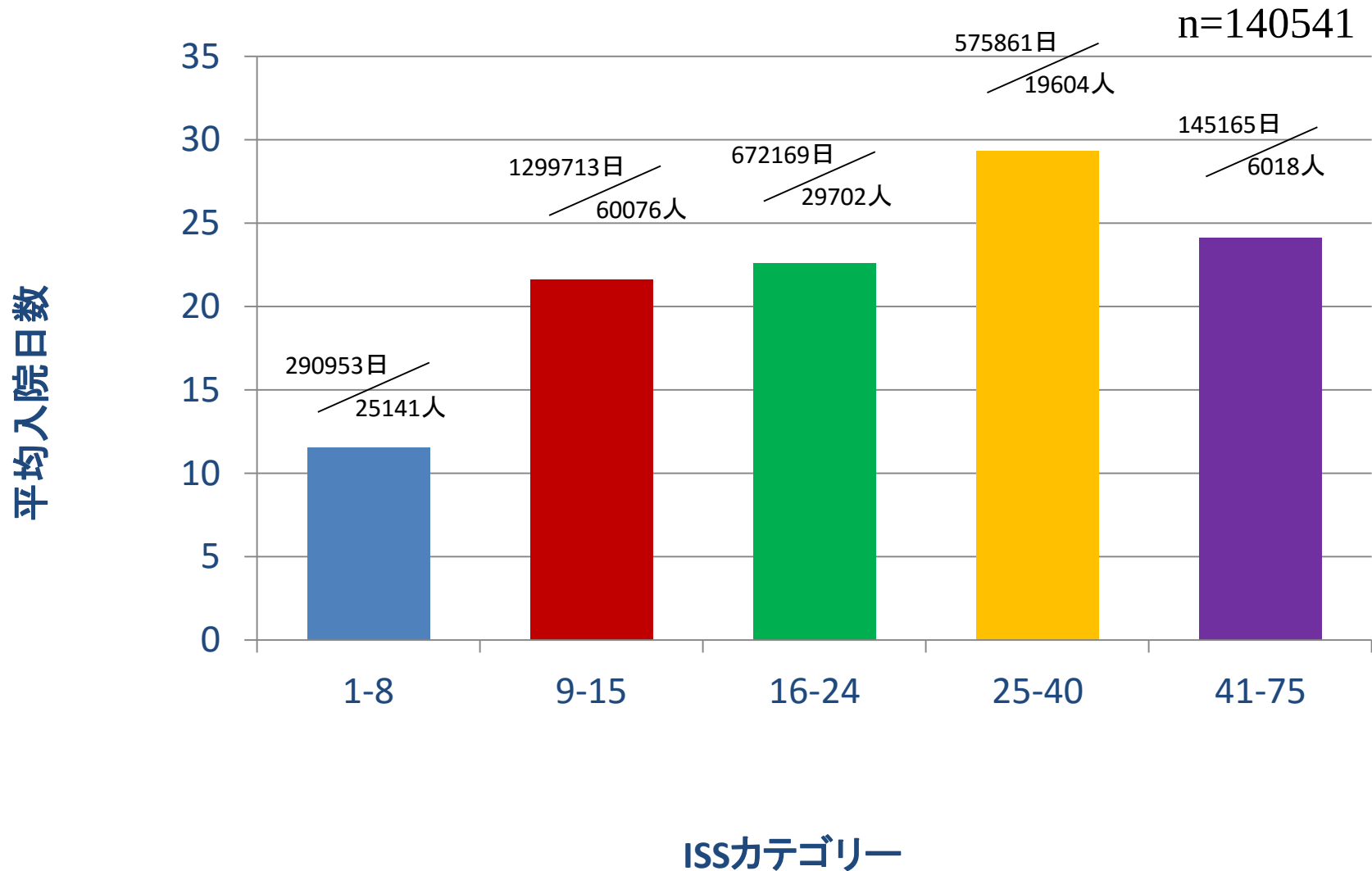


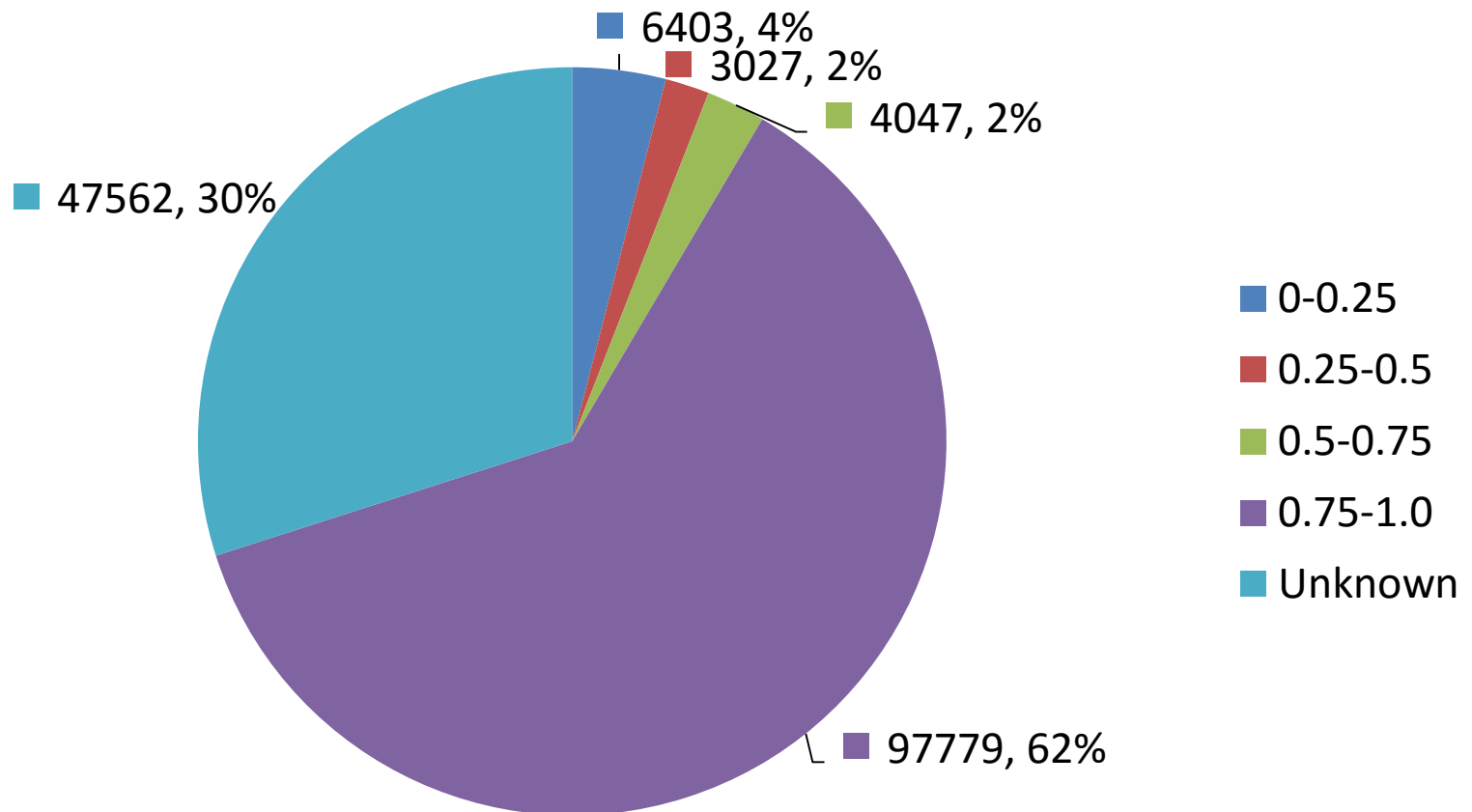
Figure
21**Probability of survival (Ps) カテゴリー別の症例数の割合**

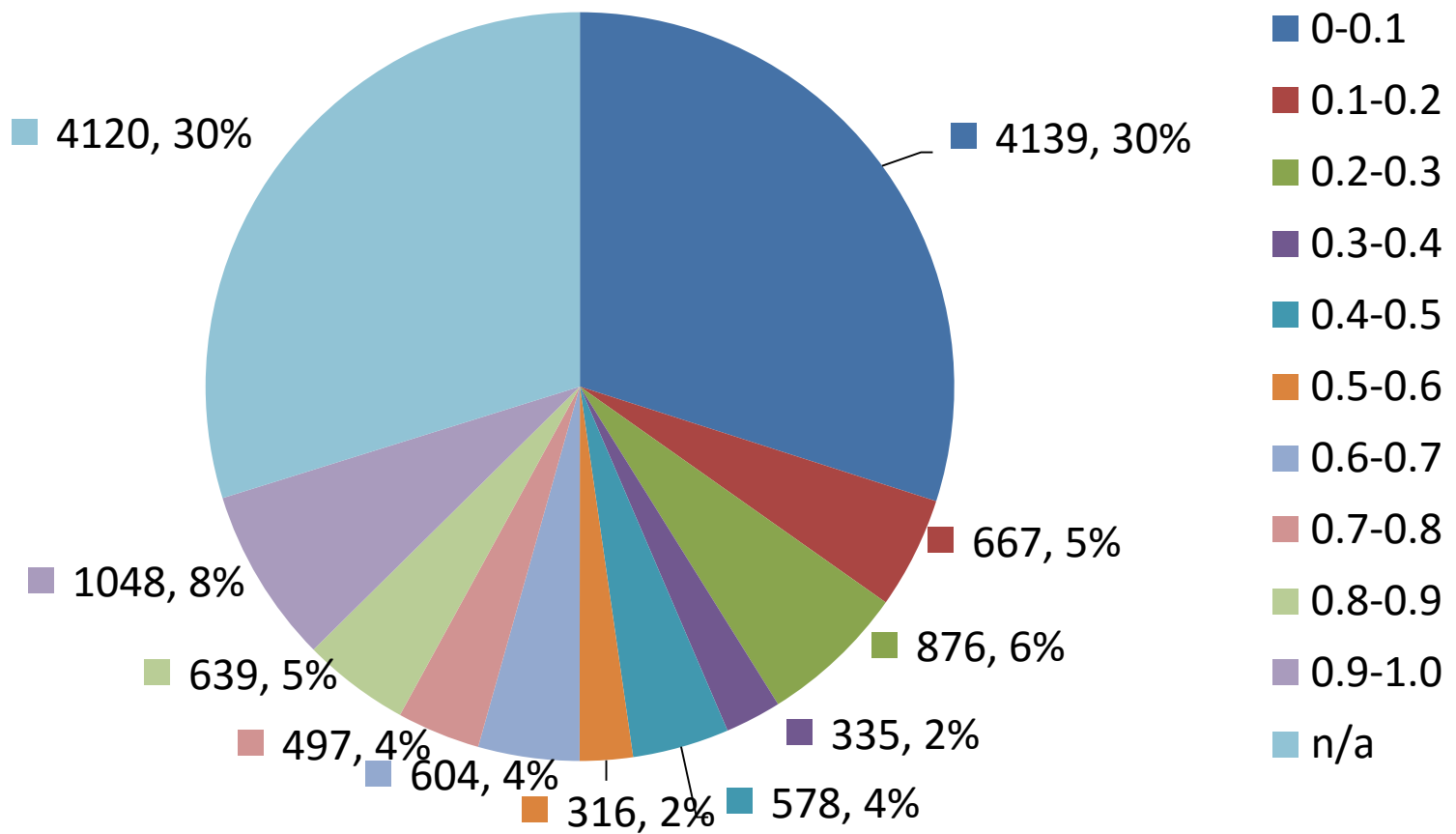
Figure
22A**Probability of survival (Ps)カテゴリー別の死亡数の割合**

Figure
22B

各Probability of survival (Ps) カテゴリーの死亡率

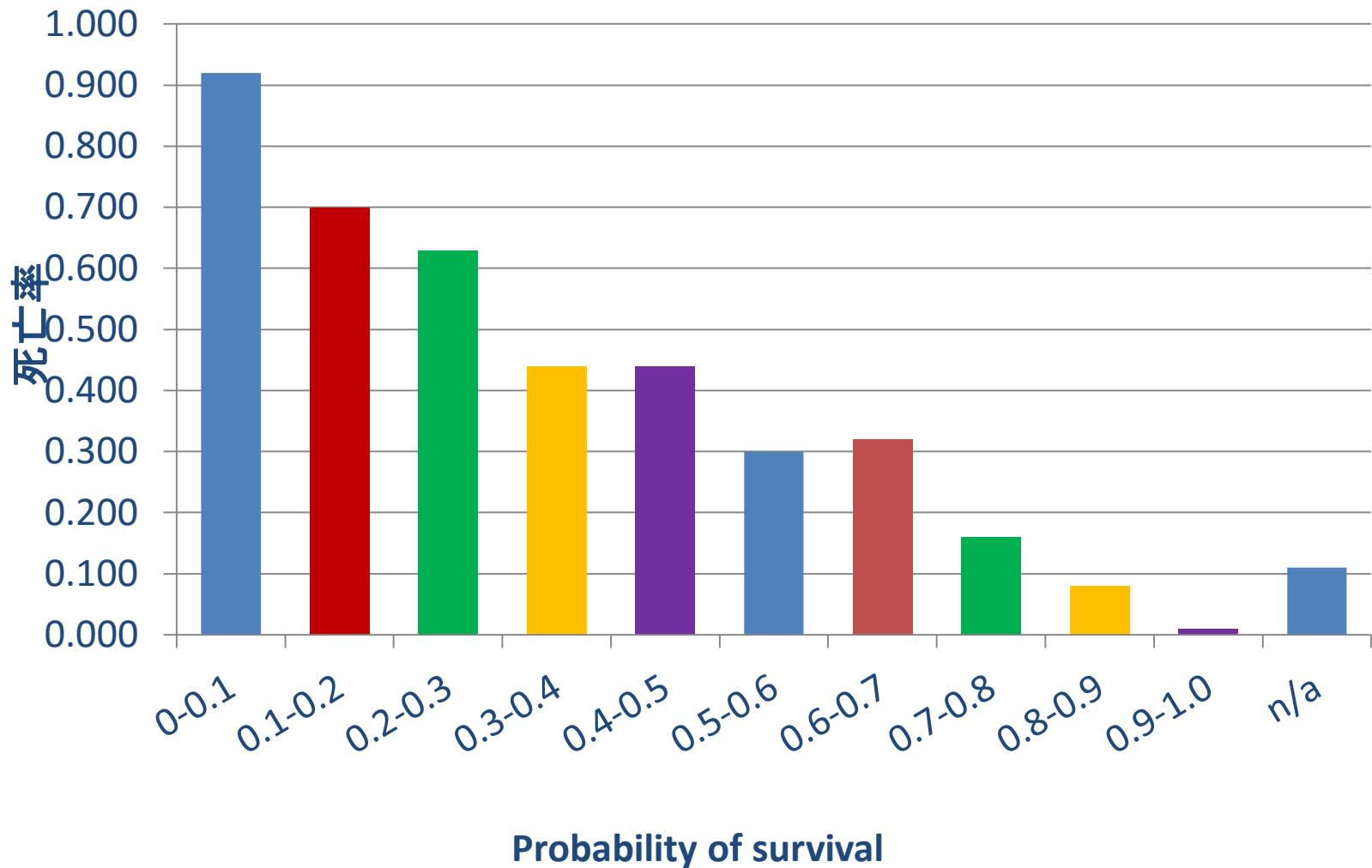


Figure
23

交通事故患者における種別別および年齢別の患者数 (n = 45,896)

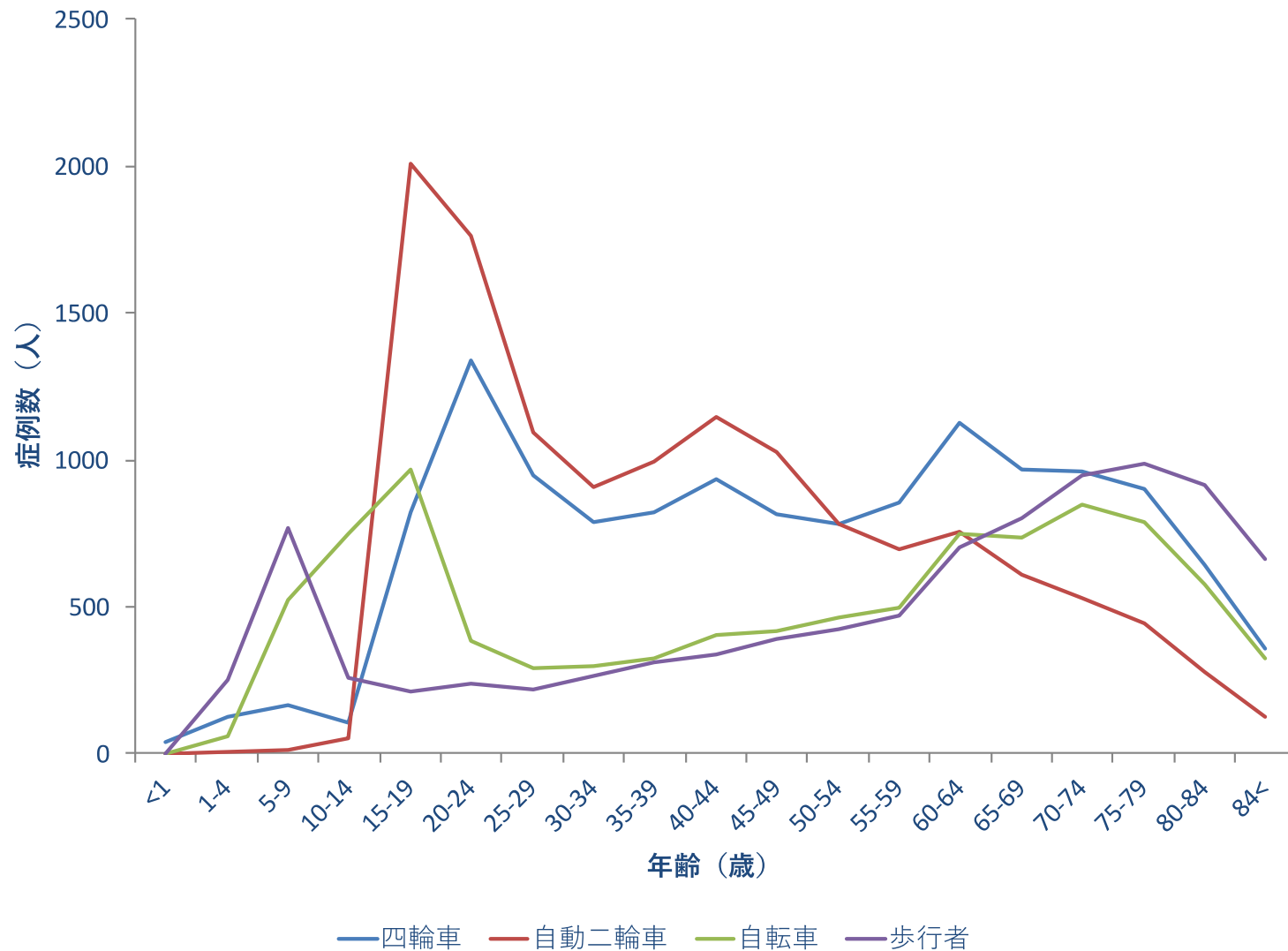


Figure
24

四輪車事故症例数の運転者・乗客別年齢分布 (n = 13,489)

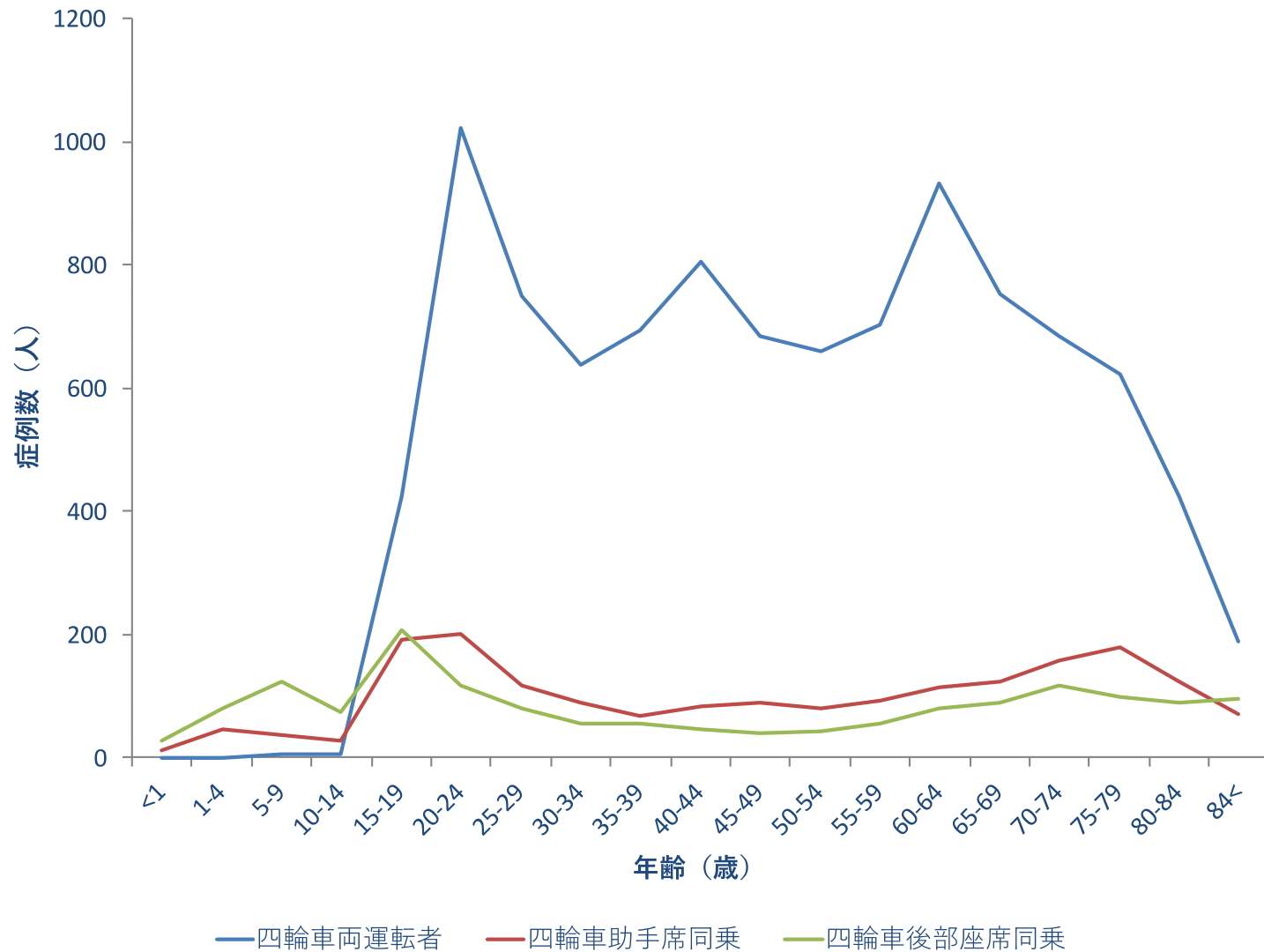


Figure
25

四輪者事故(運転者)症例数の性別年齢分布 (n = 9,993)

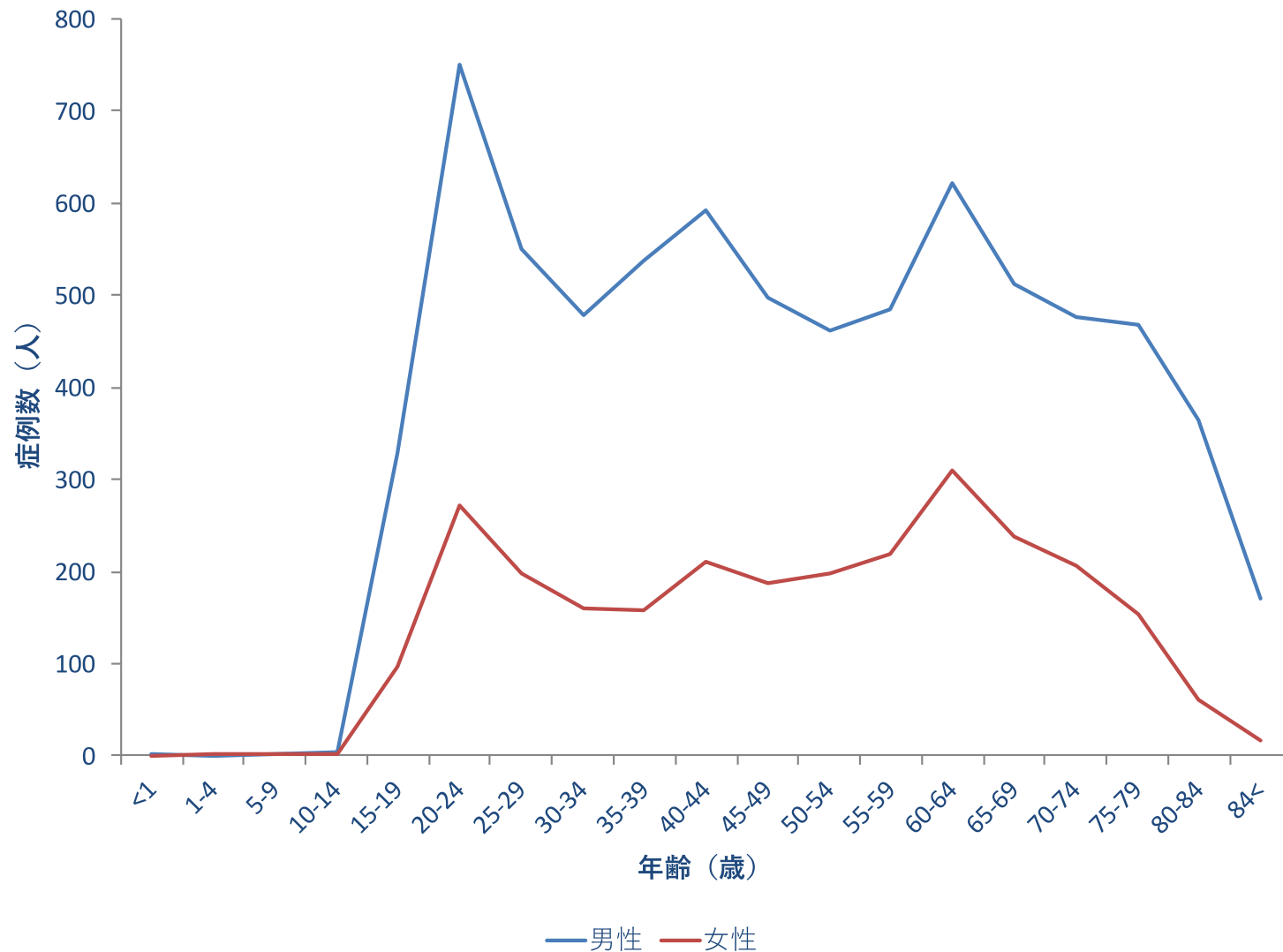


Figure
26

四輪者事故(助手席)症例数の性別年齢分布 (n = 1,910)

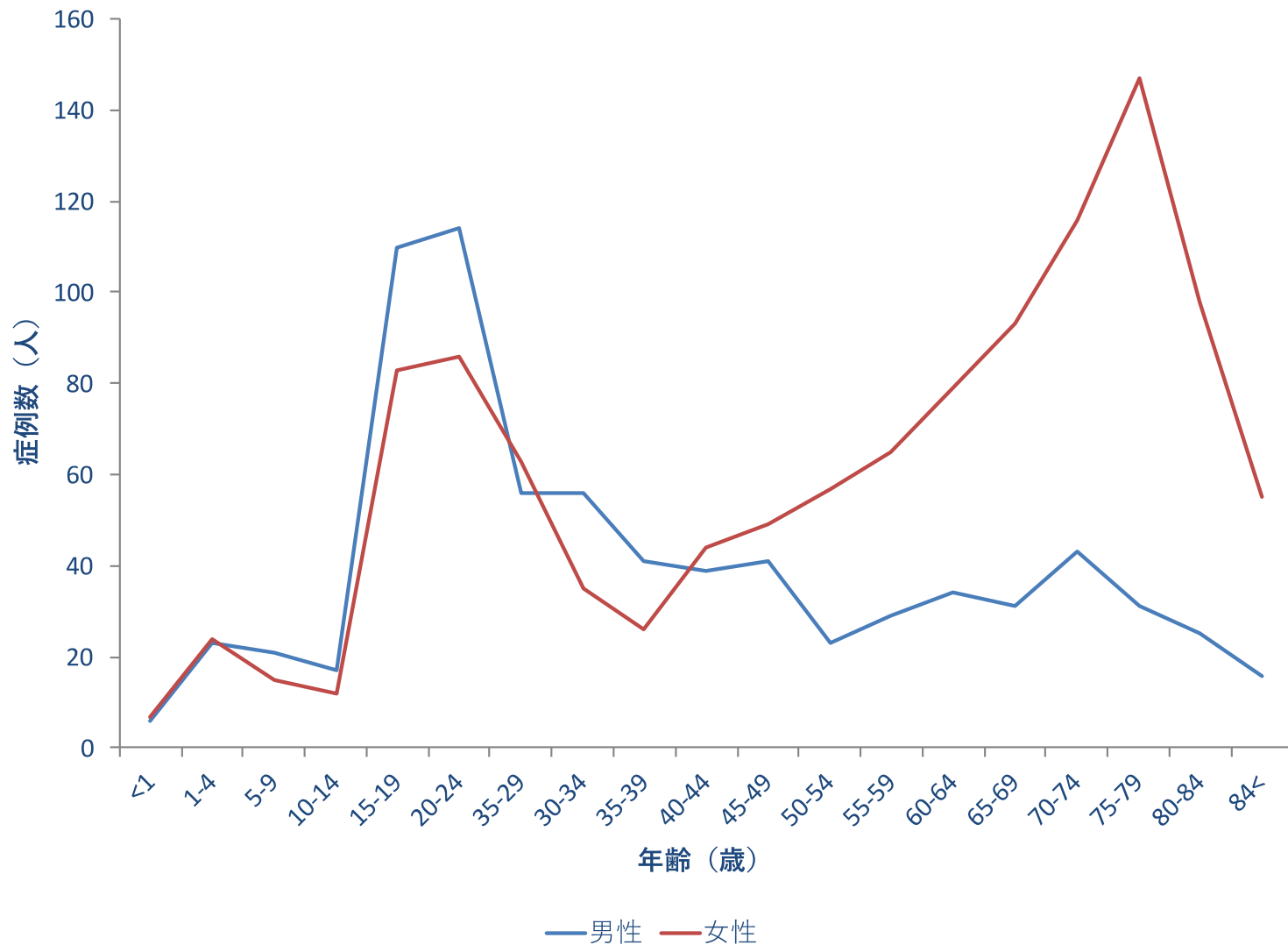


Figure
27

四輪車における運転手の年齢別死亡者数および死亡率

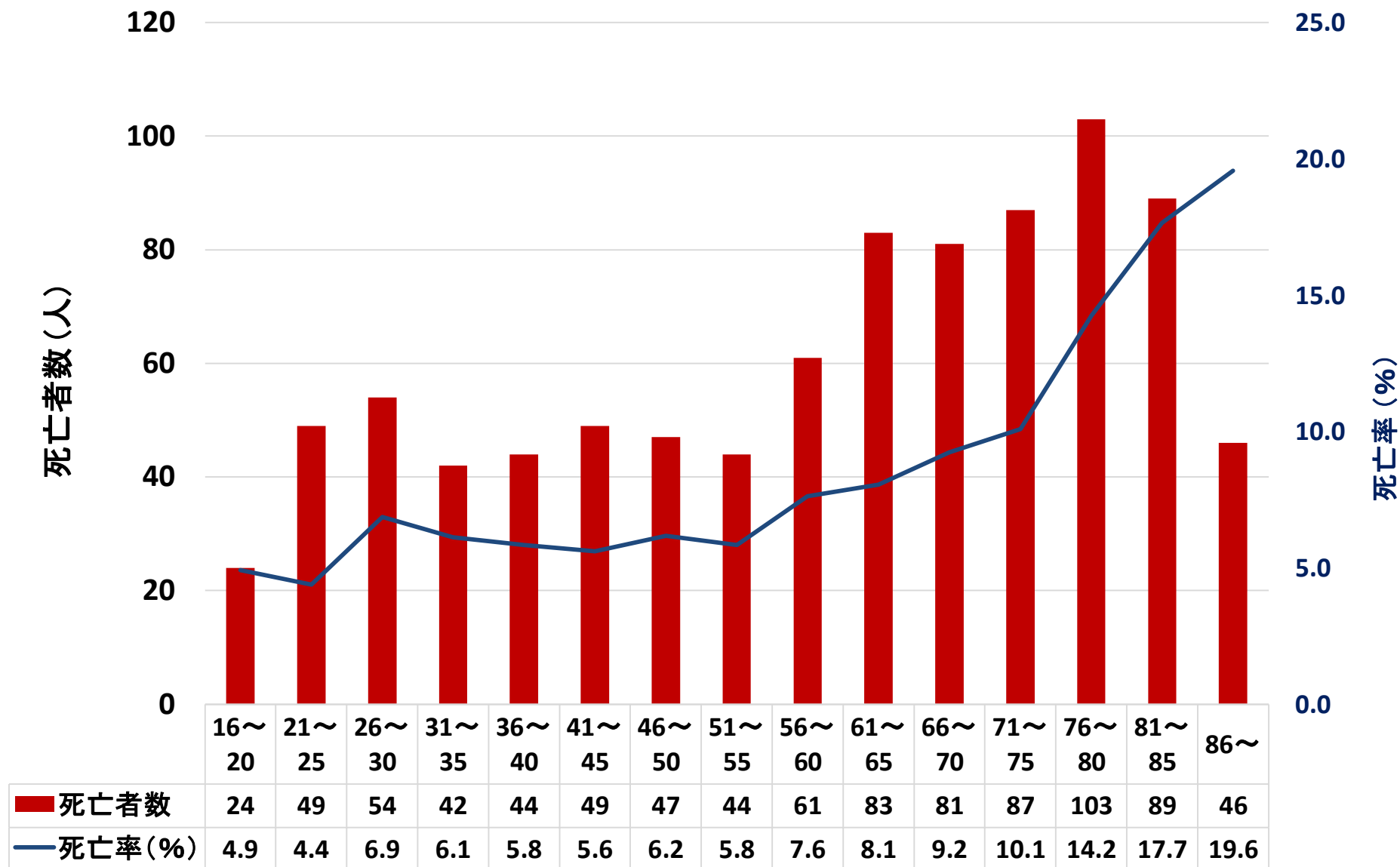


Figure
28

性別および年齢別運転死亡者数

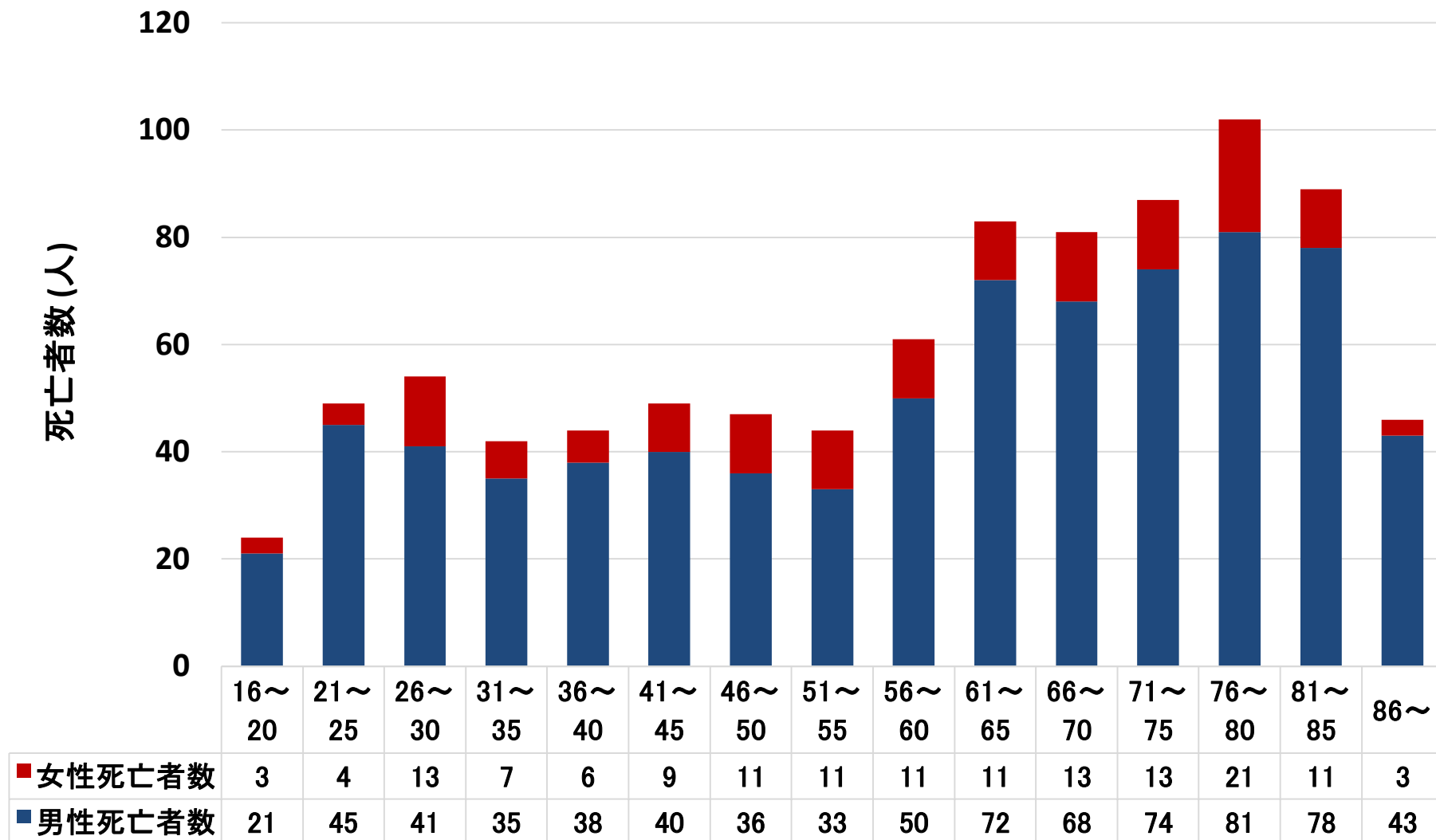


Figure
29

外傷原因別の登録患者比率

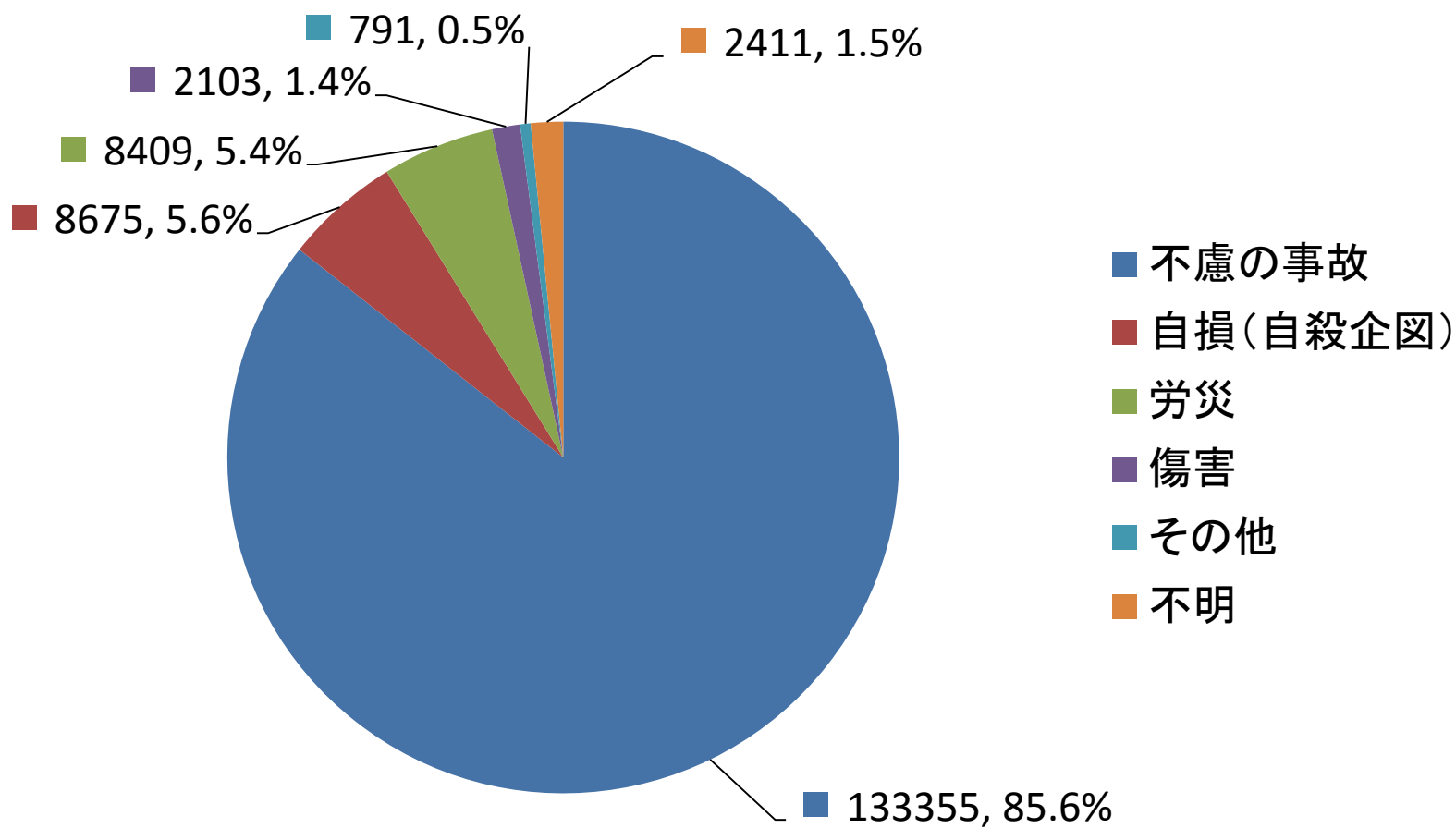


Figure
30

外傷原因別の死亡者比率

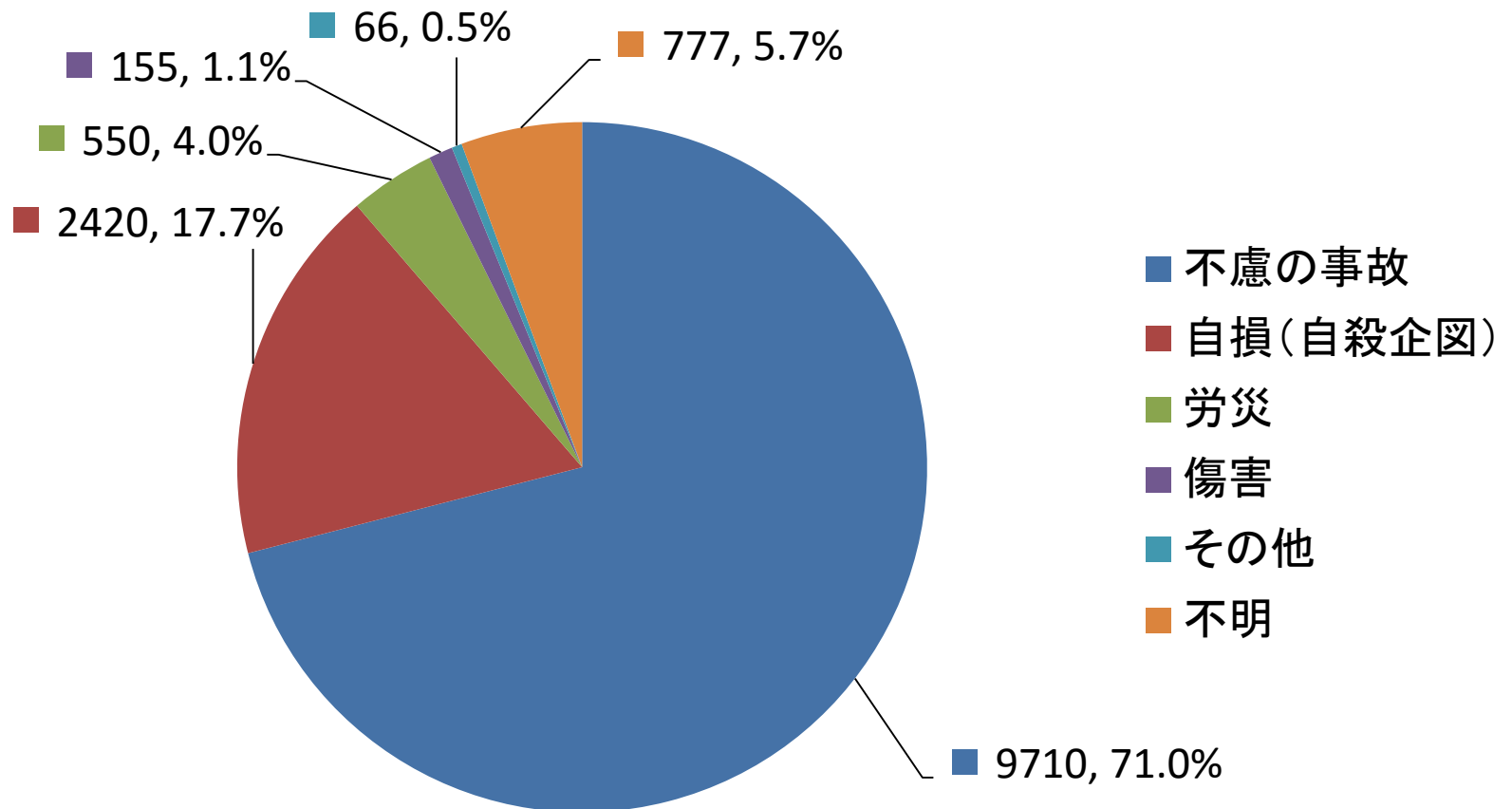


Figure
31

不慮の事故および労災による外傷患者の性別比率

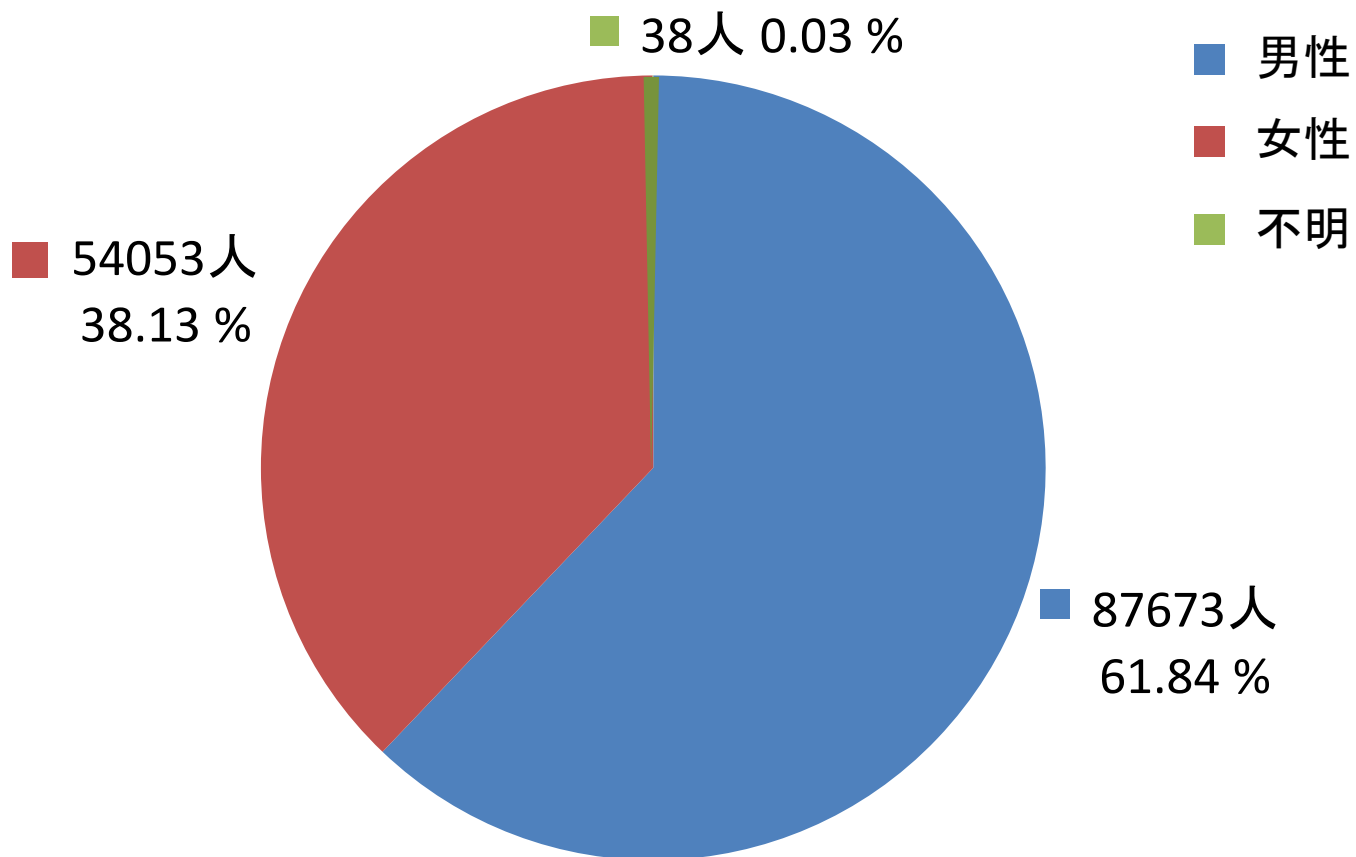


Figure
32

不慮の事故および労災による外傷患者の性別年齢分布

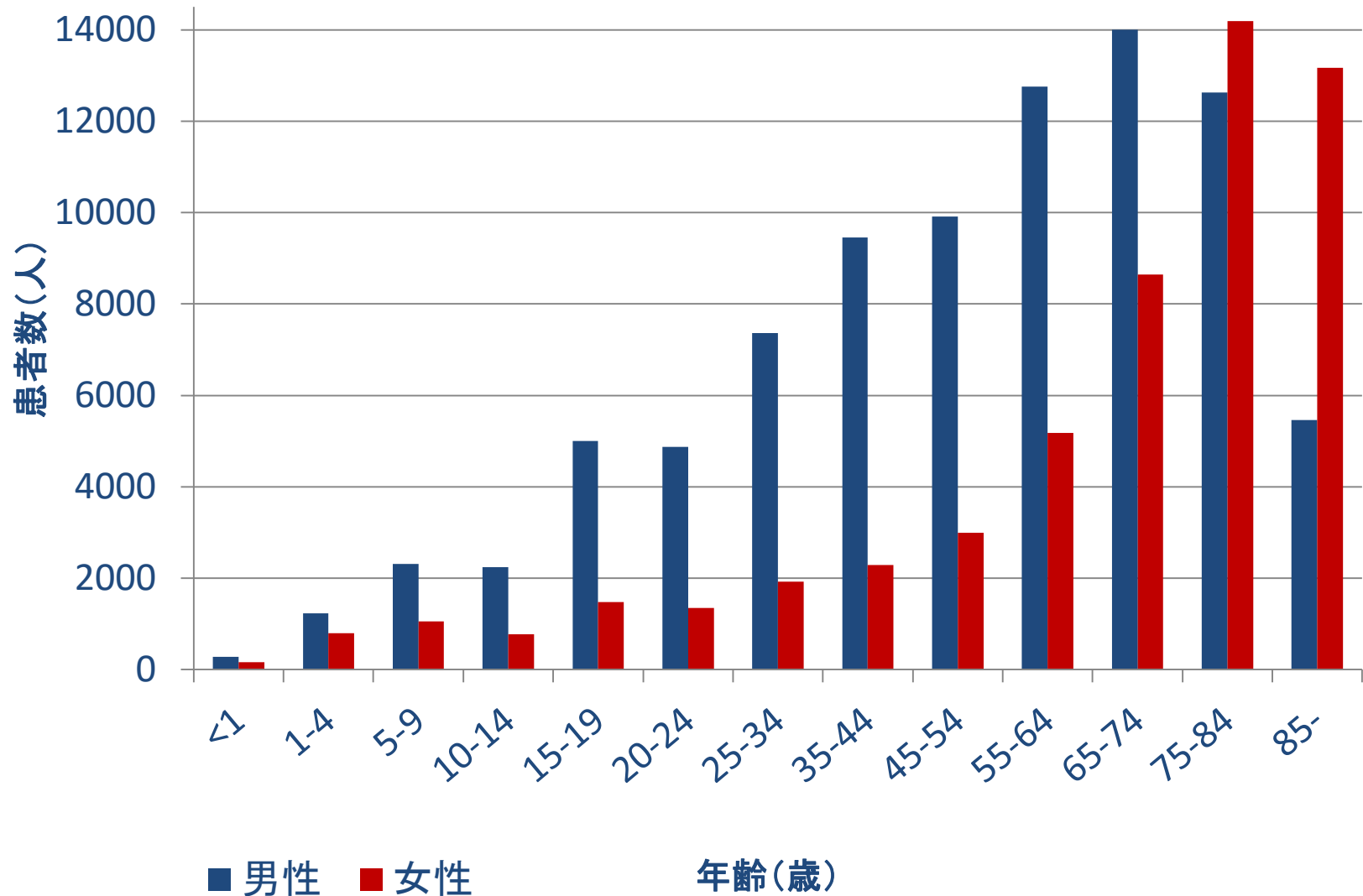


Table
32

不慮の事故および労災による外傷患者の性別年齢分布

年 齢	男 性	女 性	計
< 1	286	164	450
1 - 4	1237	793	2030
5 - 9	2311	1060	3371
10-14	2240	771	3011
15-19	5000	1474	6474
20-24	4868	1350	6218
25-34	7362	1928	9290
35-44	9461	2290	11751
45-54	9913	3000	12913
55-64	12754	5179	17933
65-74	14001	8641	22642
75-84	12633	14189	26822
85 -	5462	13163	18625
不明	145	51	196
計	87673	54053	141726

Figure
33

傷害による外傷患者の性別年齢分布

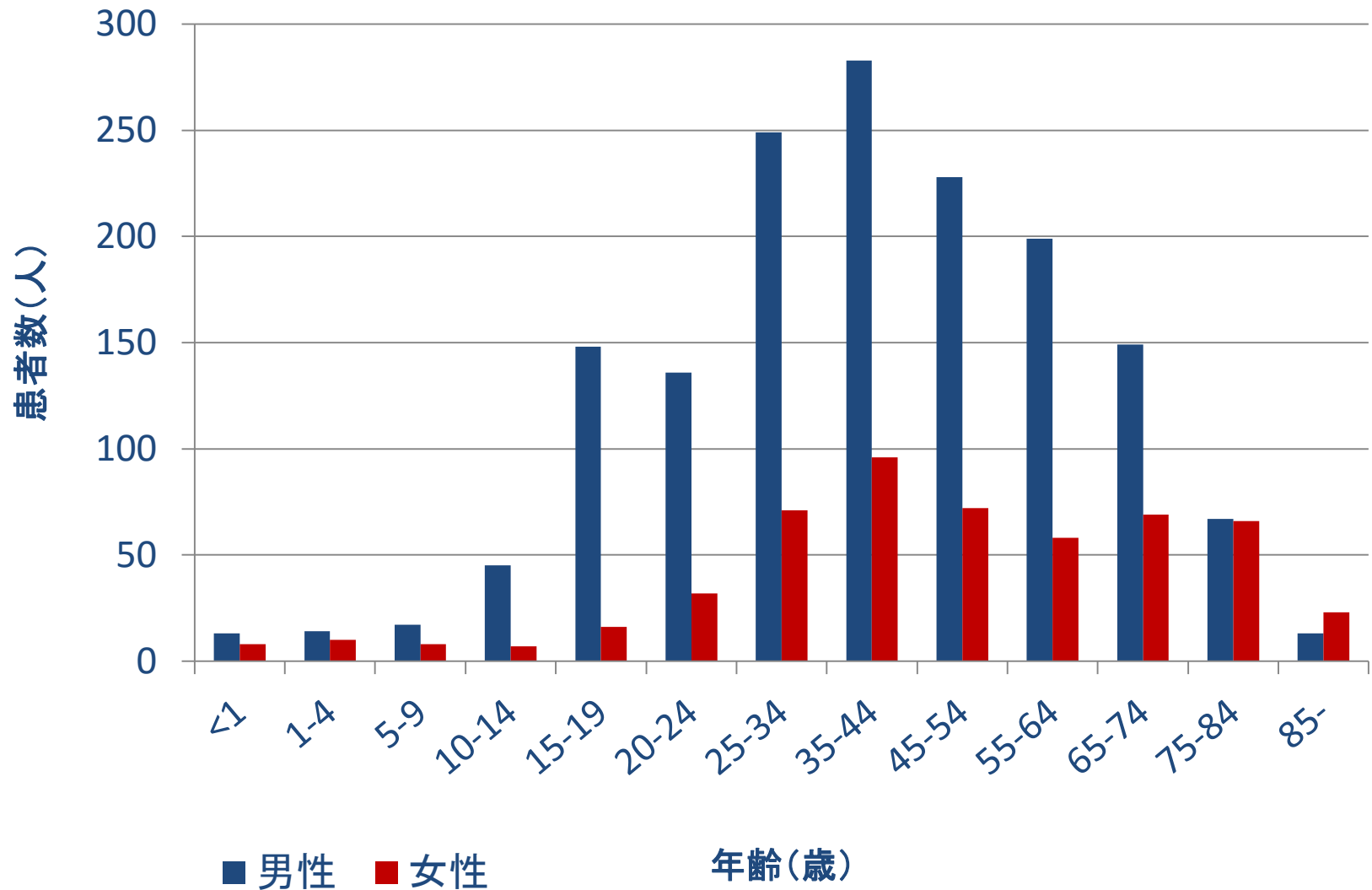


Table
33

傷害による外傷患者の性別年齢分布

年 齢	男 性	女 性	計
< 1	13	8	21
1 - 4	14	10	24
5 - 9	17	8	25
10-14	45	7	52
15-19	148	16	164
20-24	136	32	168
25-34	249	71	320
35-44	283	96	379
45-54	228	72	300
55-64	199	58	257
65-74	149	69	218
75-84	67	66	133
85 -	13	23	36
不明	6	0	6
計	1567	536	2103

Figure
34

自傷による外傷患者の性別年齢分布

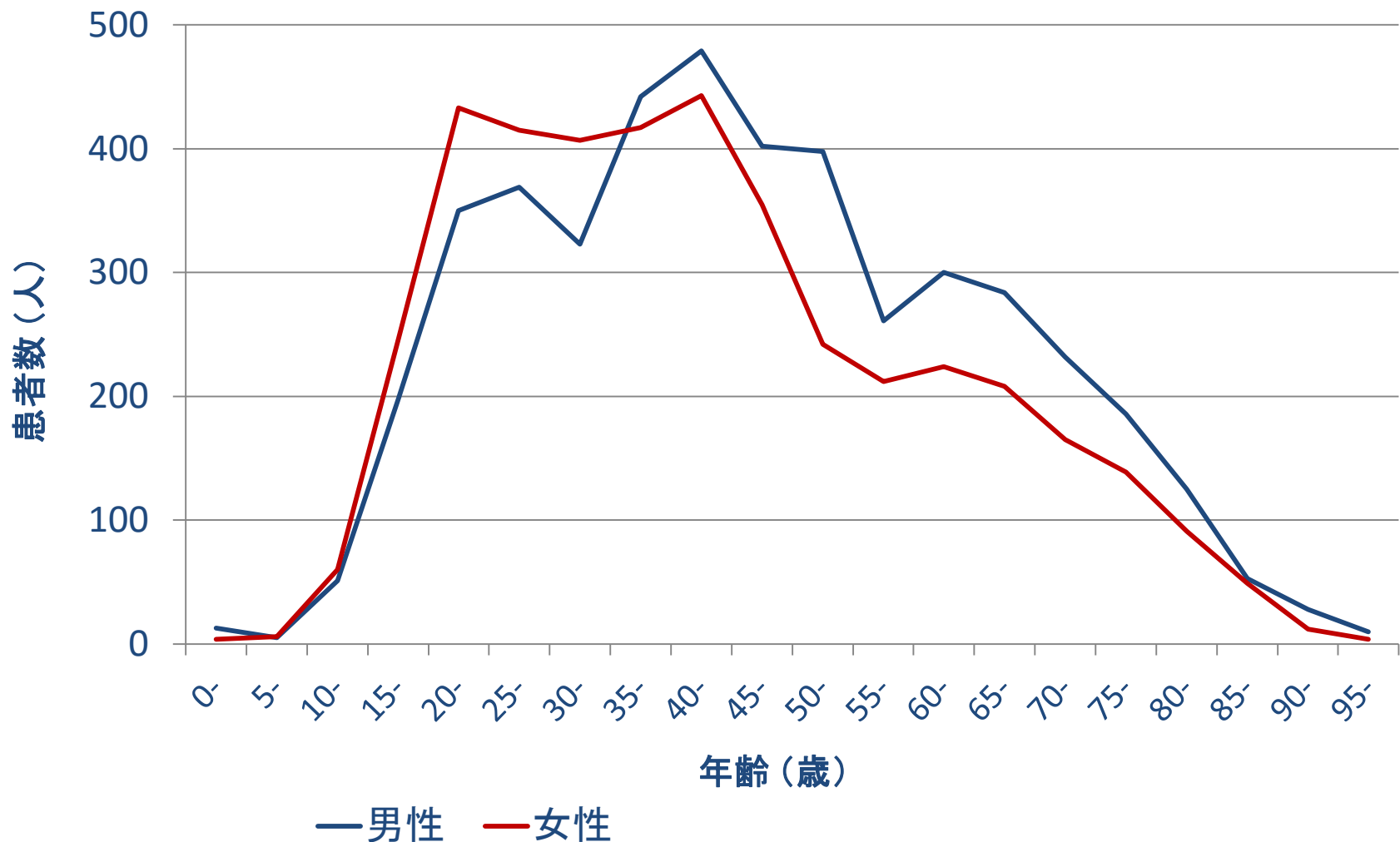


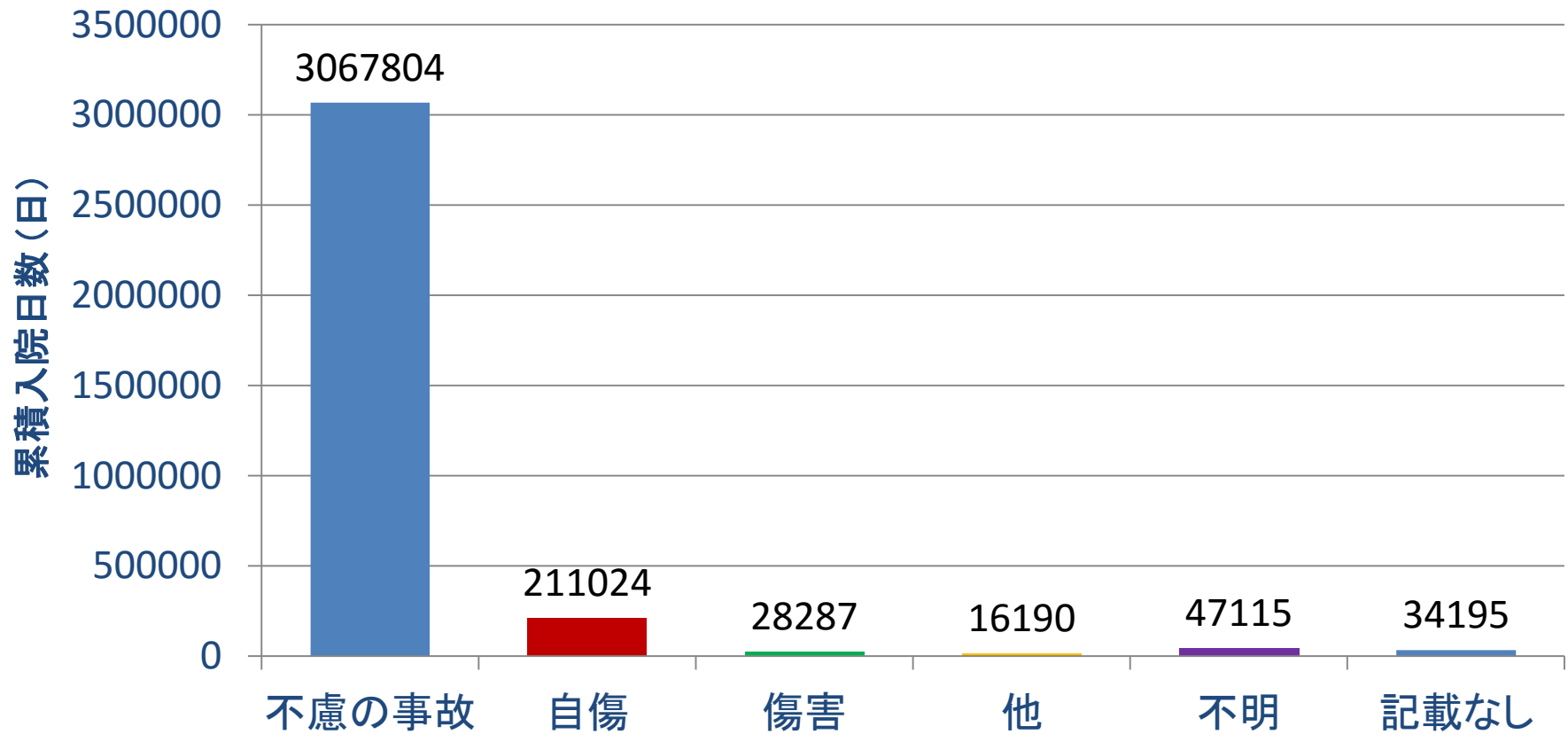
Table
34

自傷による外傷患者の性別年齢分布

Age Sex	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-	Unkn wn	Total
Female	4	6	60	246	433	415	407	417	443	355	242	212	224	208	165	139	91	49	12	4	12	4144
Male	13	5	51	198	350	369	323	442	479	402	398	261	300	284	232	186	125	53	28	10	20	4529
Total	17	11	111	444	783	784	730	859	922	757	640	473	524	492	397	325	216	102	40	14	32	8673

Figure
35A

外傷原因別の累積入院日数

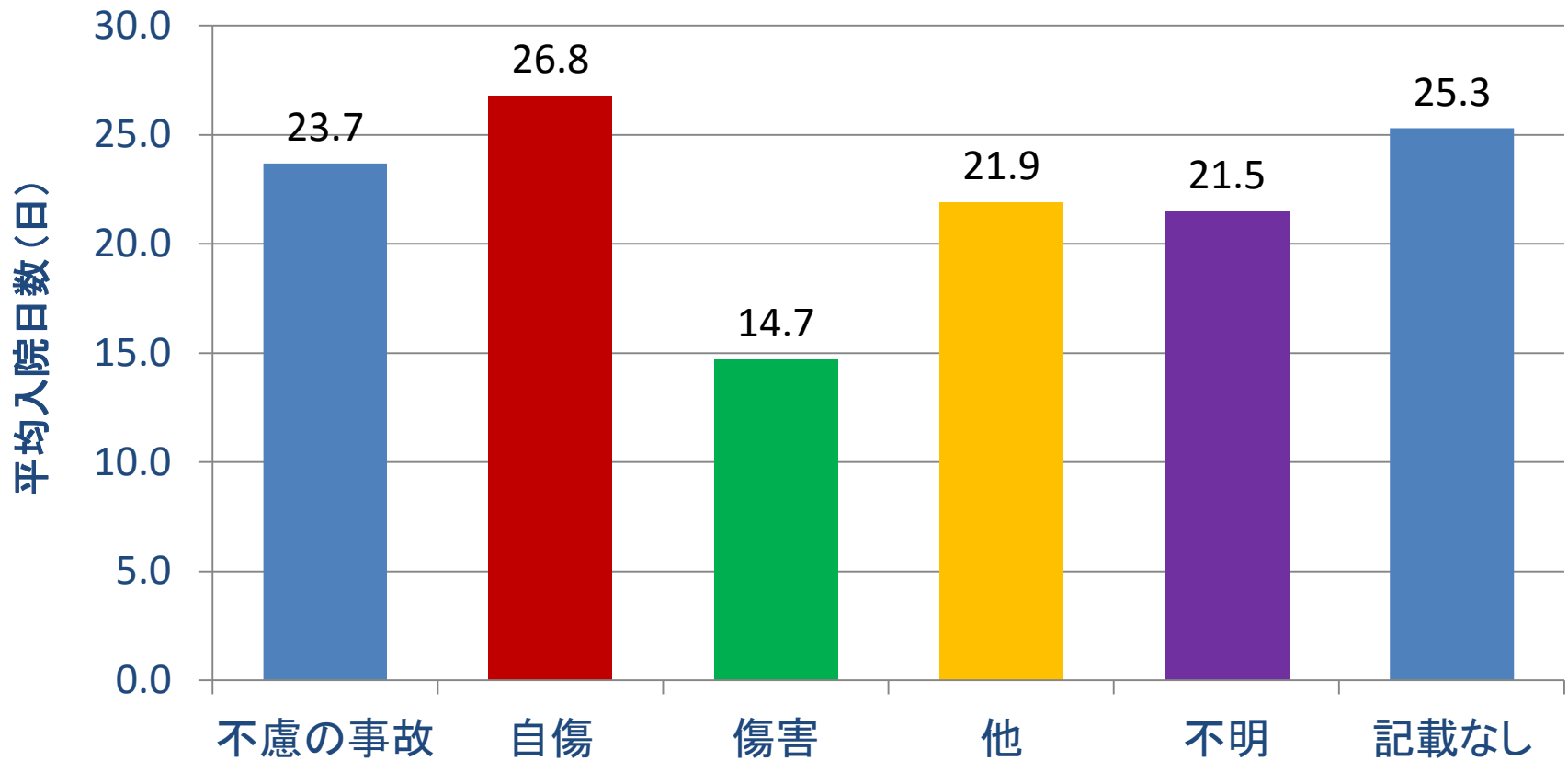


「記載なし」とは、外傷原因の記載がないものを指す。

不慮の事故には、労災も含まれる。

Figure
35B

外傷原因別の平均入院日数



不慮の事故には、労災も含まれる。

Figure
36

各部位損傷症例数

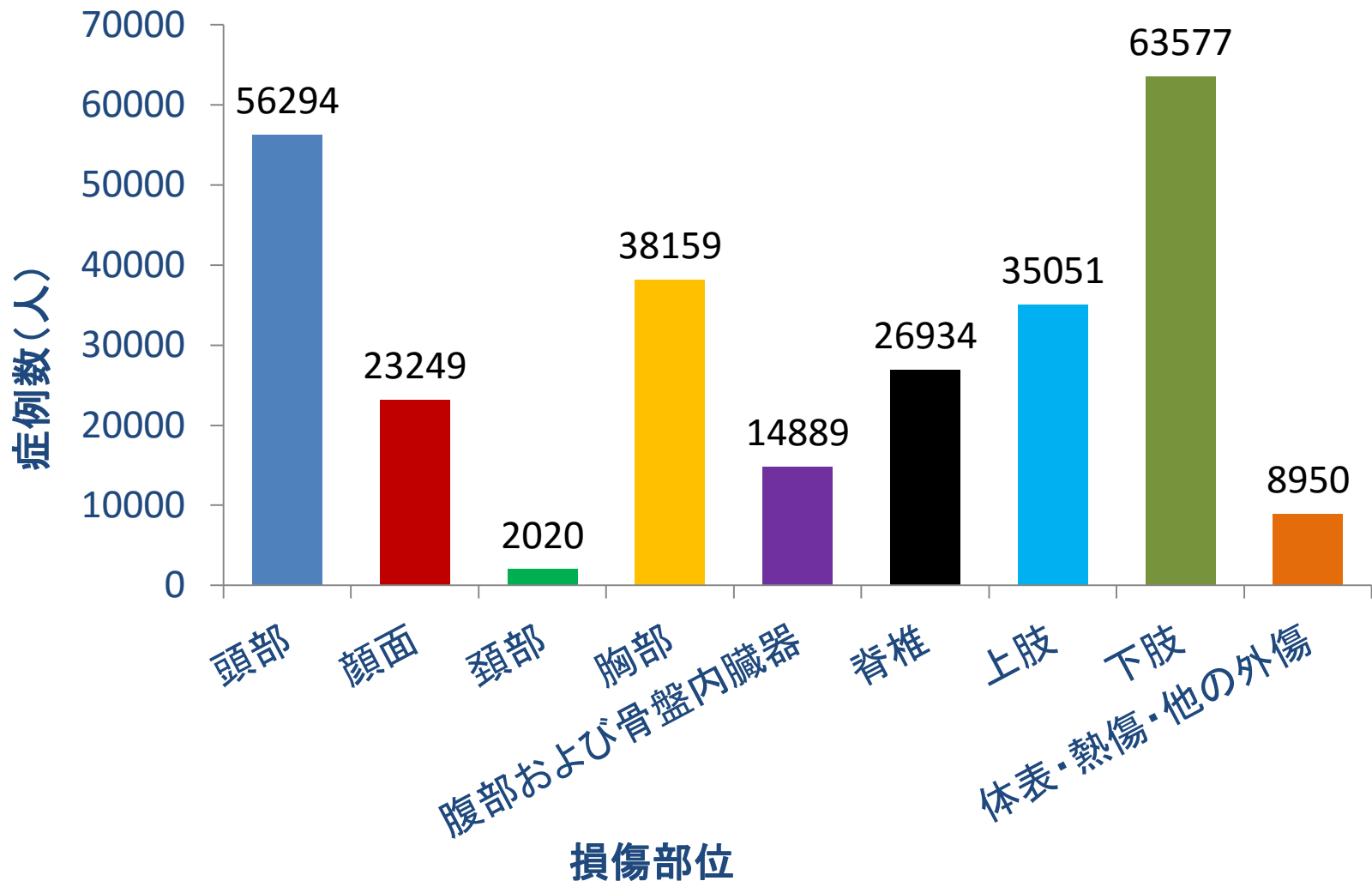


Figure
37A

頭部損傷とmaxAIS重症度

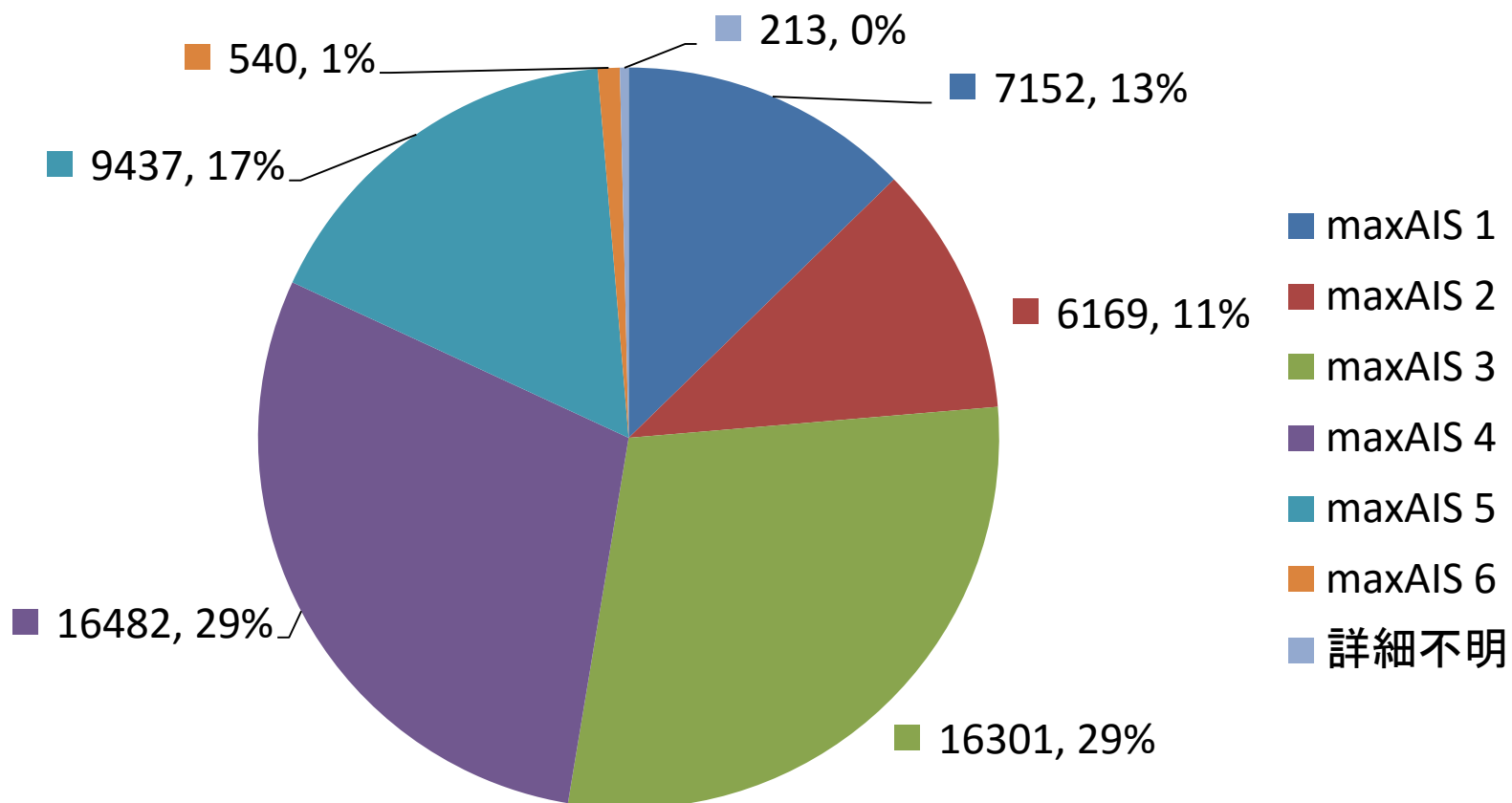


Figure
37B

顔面損傷とmaxAIS重症度

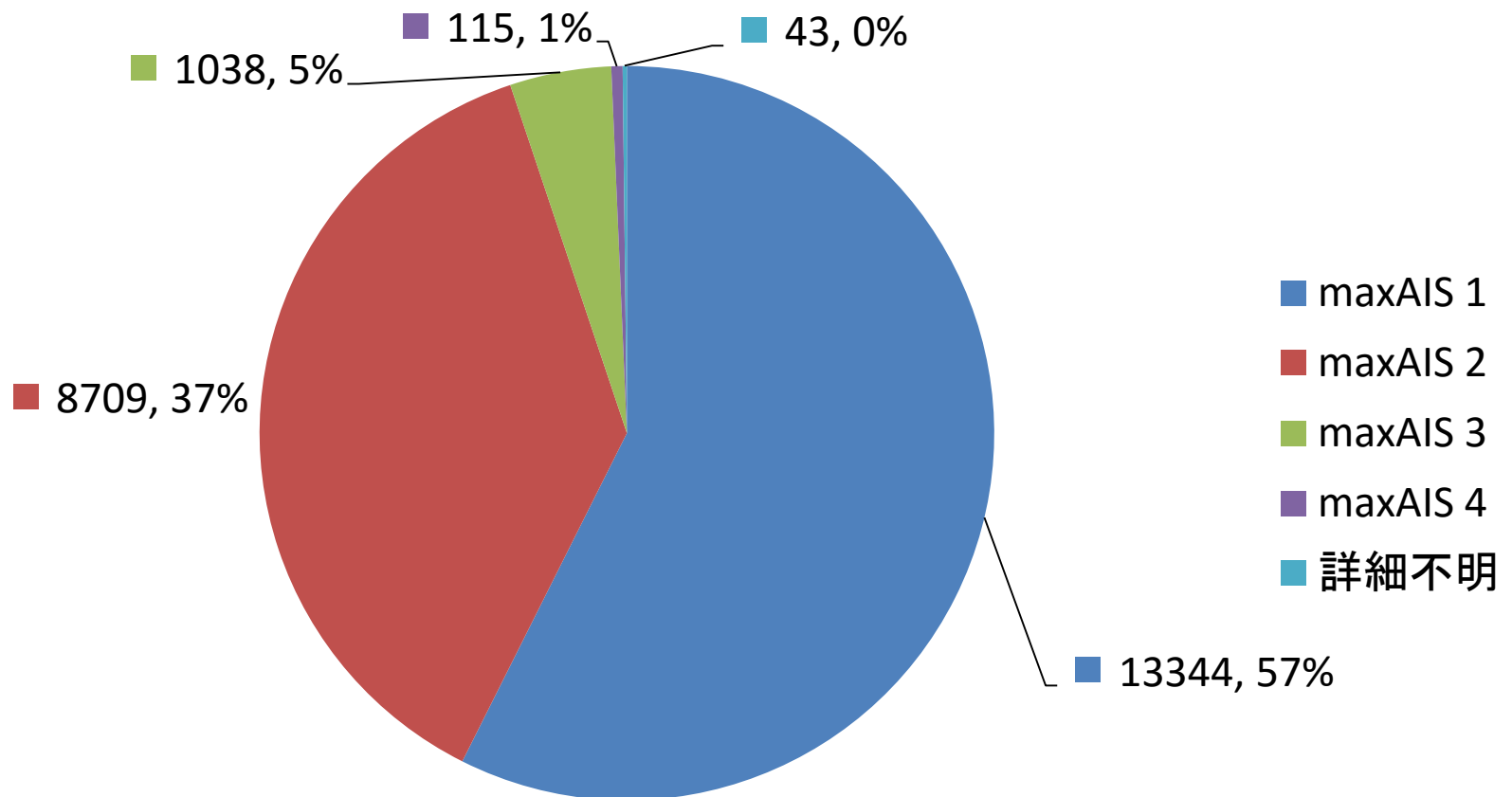


Figure
37C

頸部損傷とmaxAIS重症度

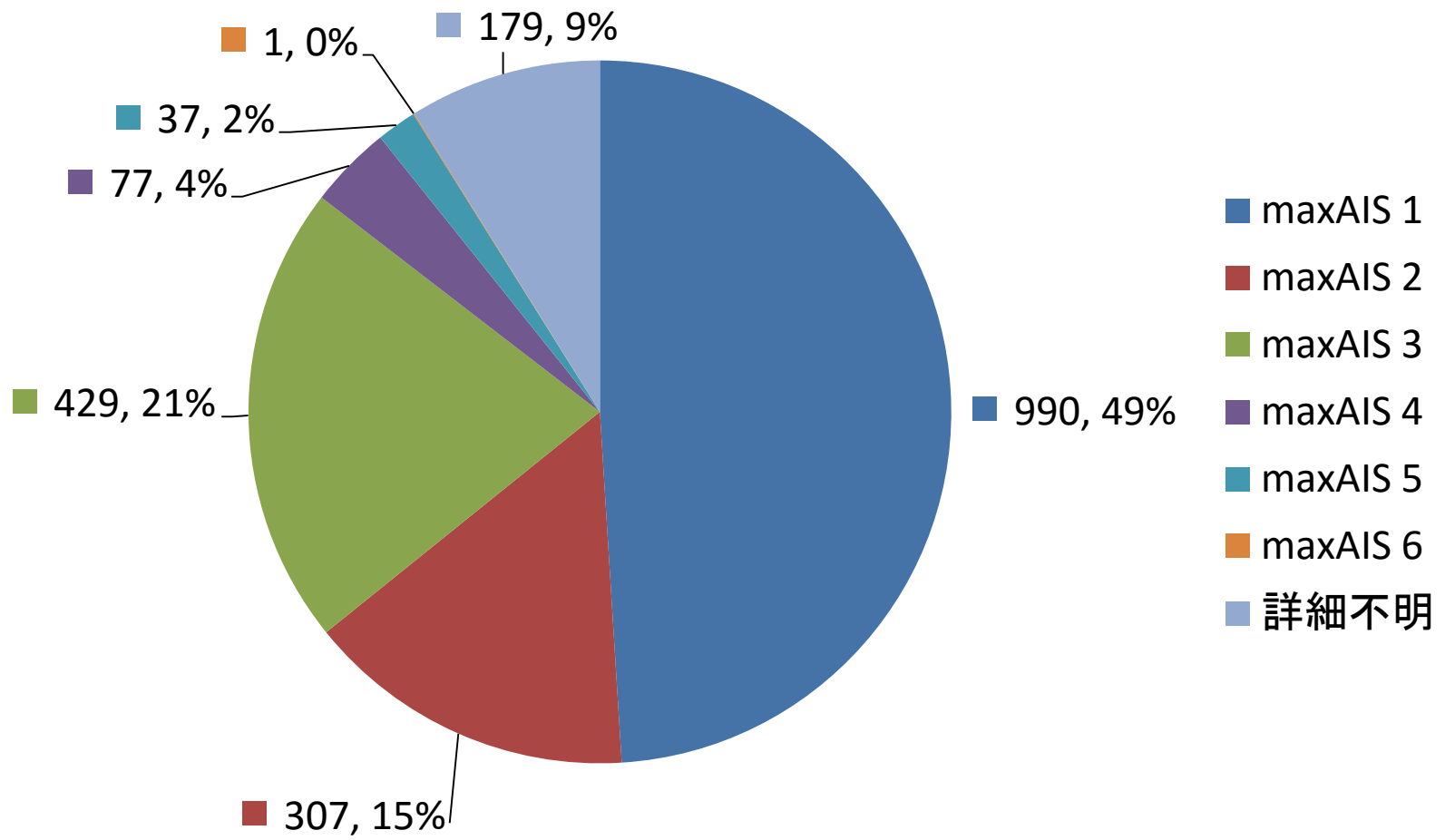


Figure
37D

胸部損傷とmaxAIS重症度

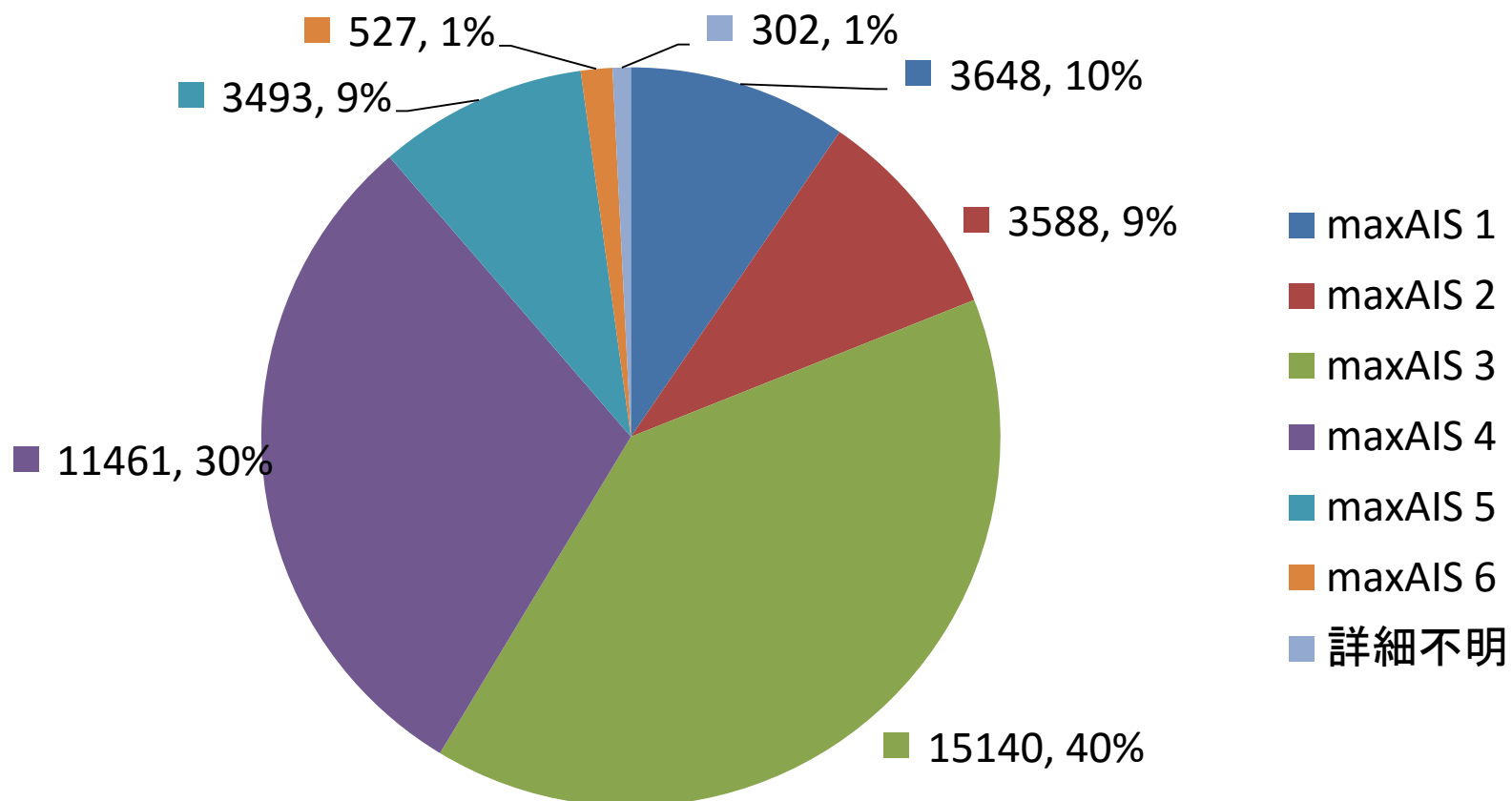


Figure
37E

腹部および骨盤内臓器損傷と max AIS 重症度

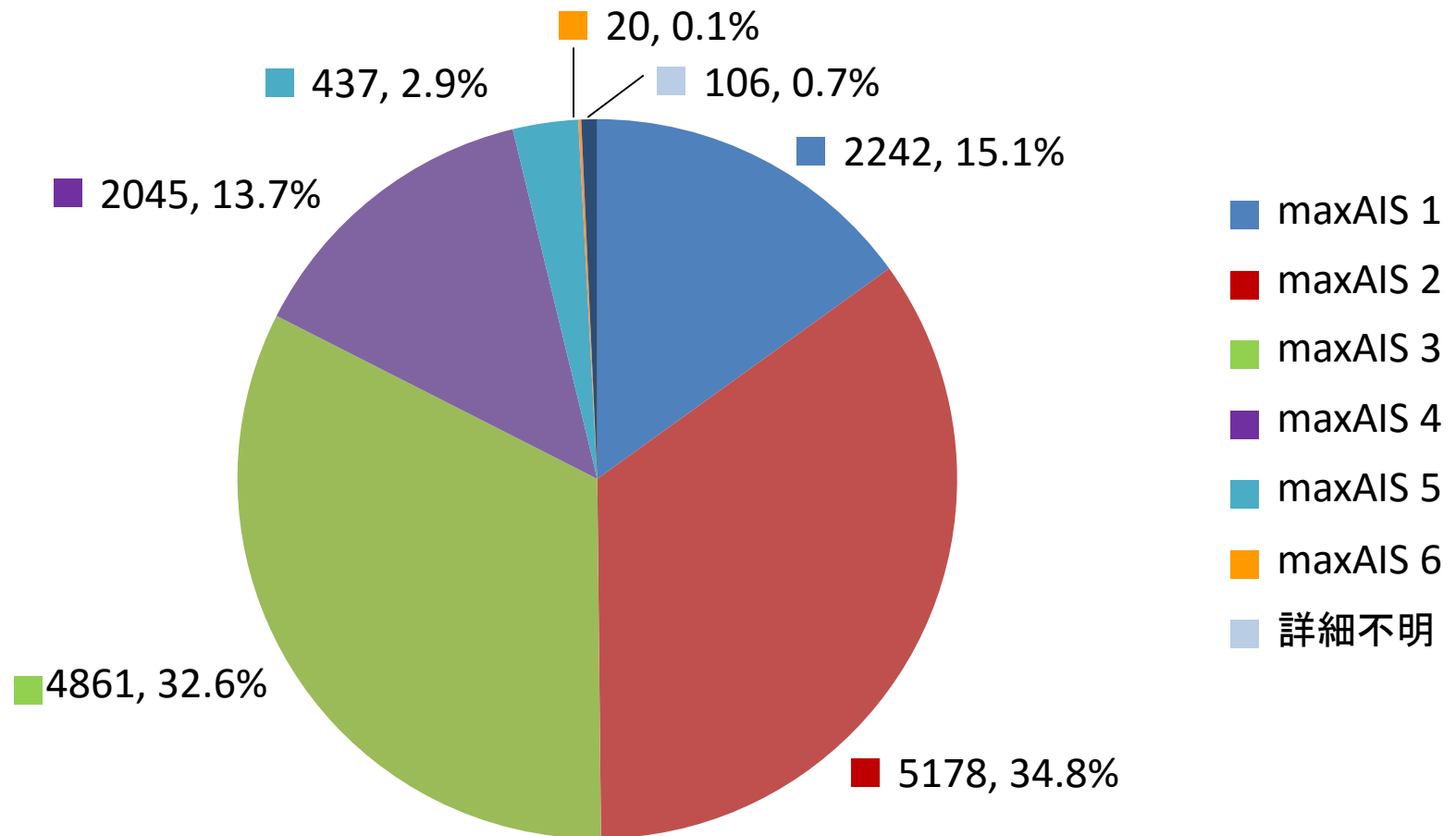


Figure
37F

脊椎損傷と max AIS 重症度

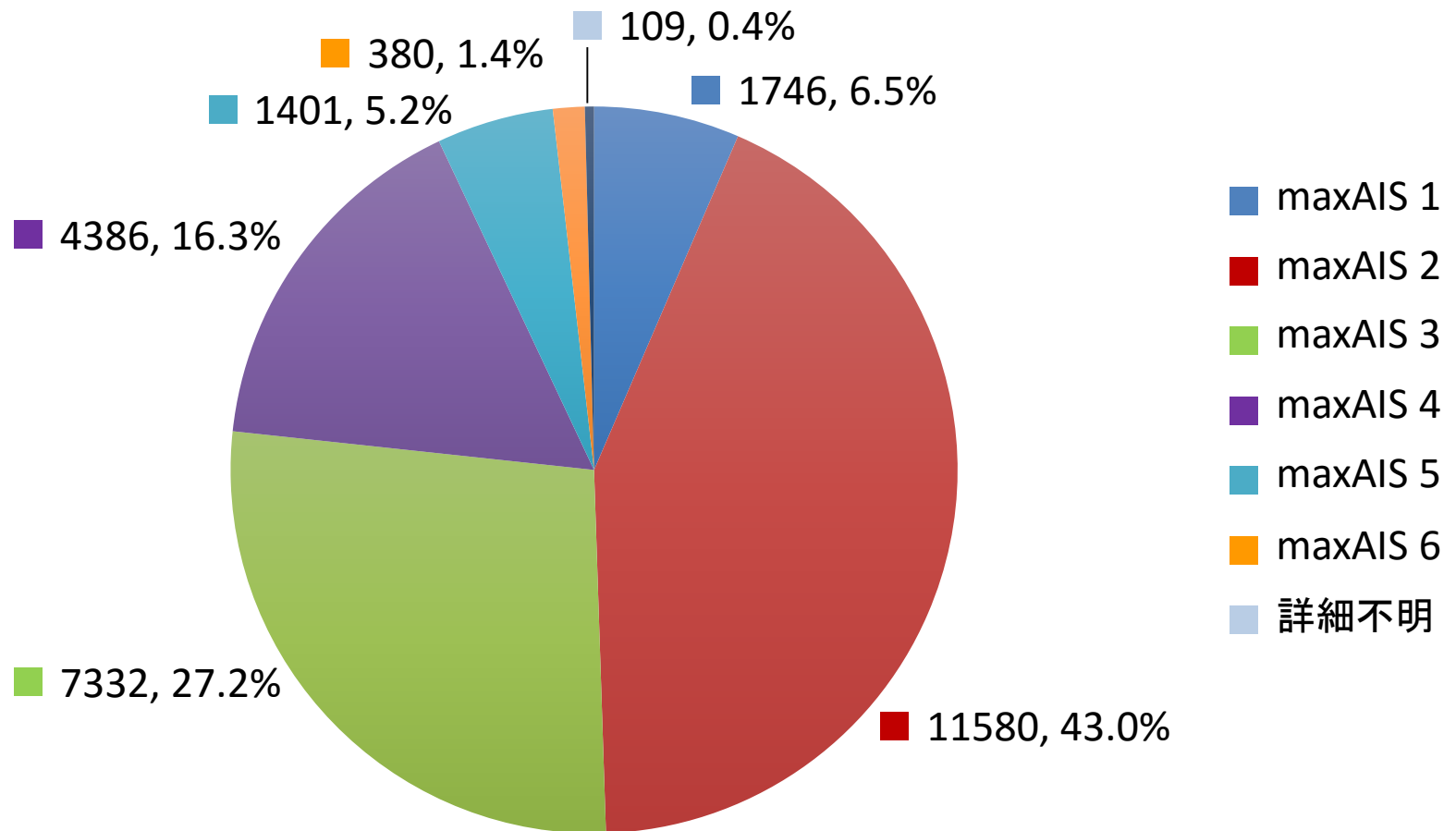


Figure
37G

上肢損傷と max AIS 重症度

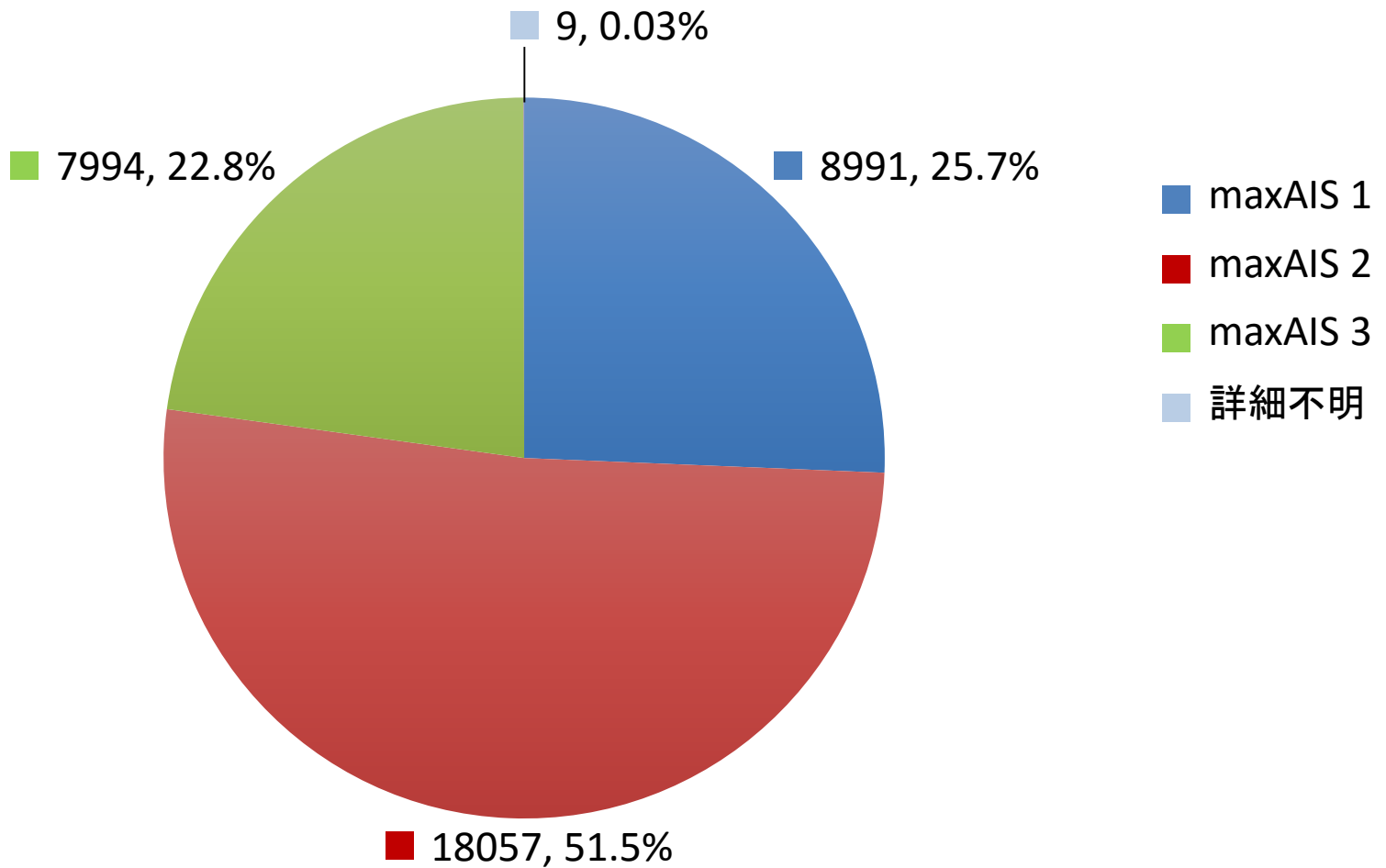


Figure
37H

下肢損傷と max AIS 重症度

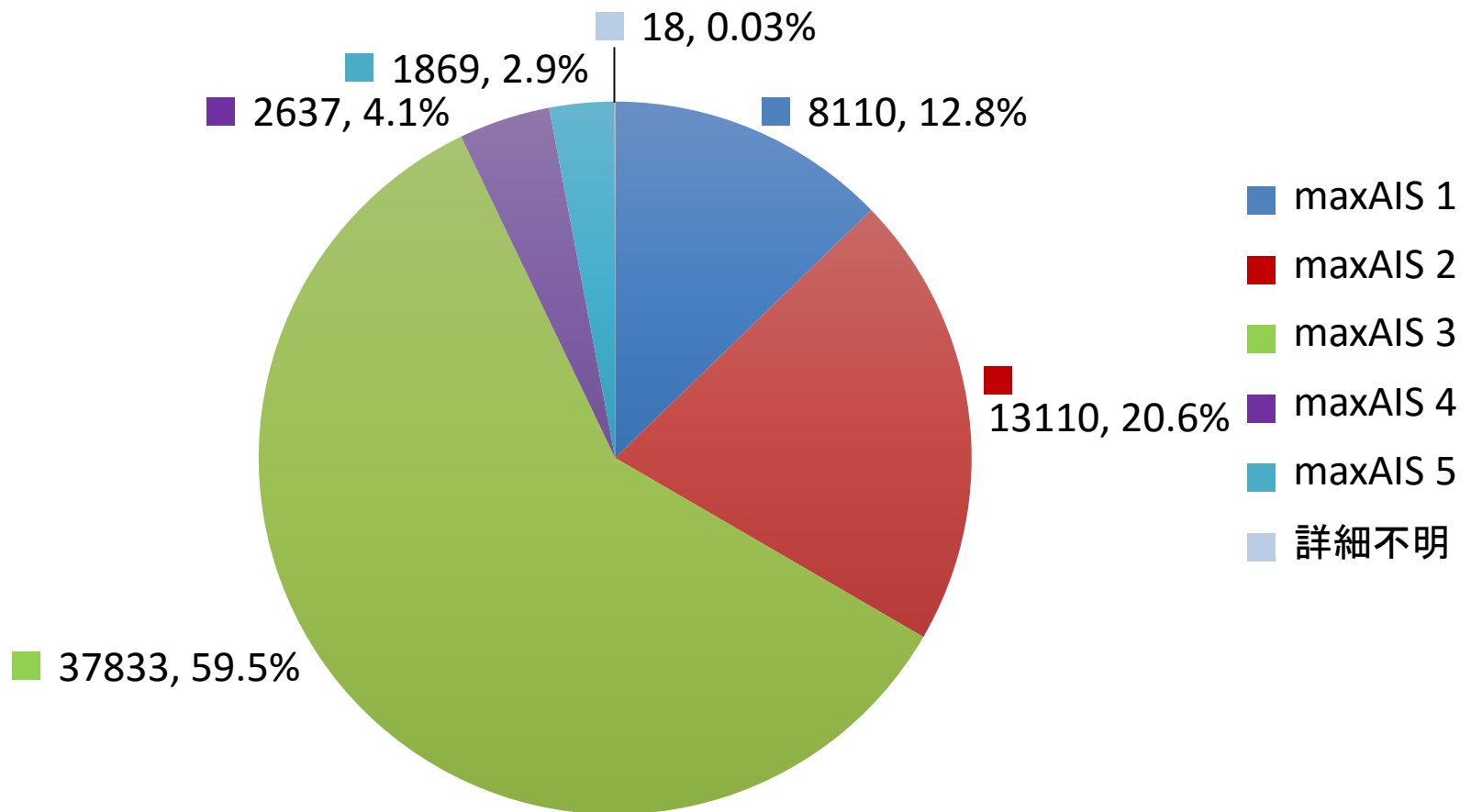


Figure
37I

体表・熱傷・他の外傷と max AIS 重症度

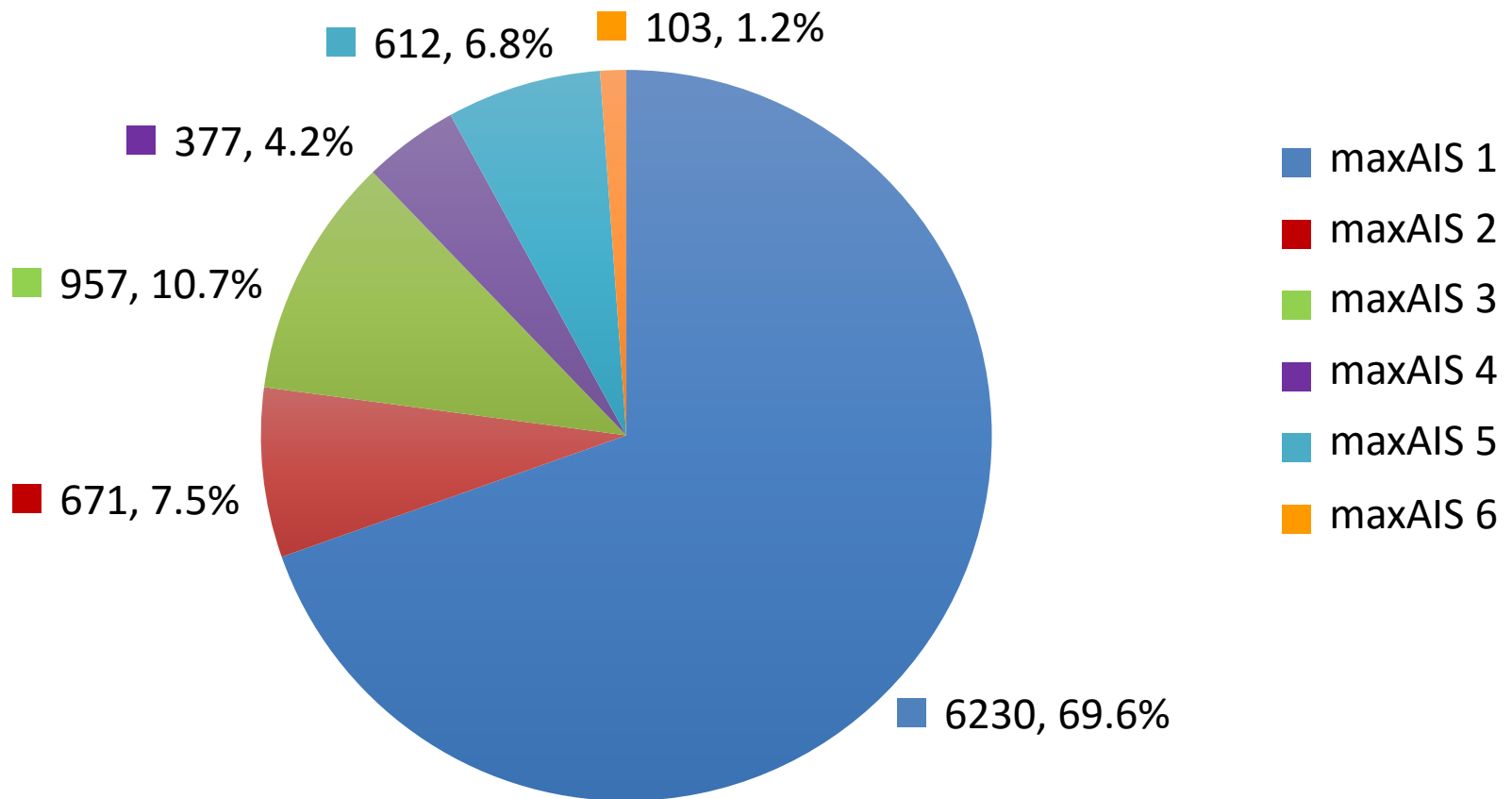
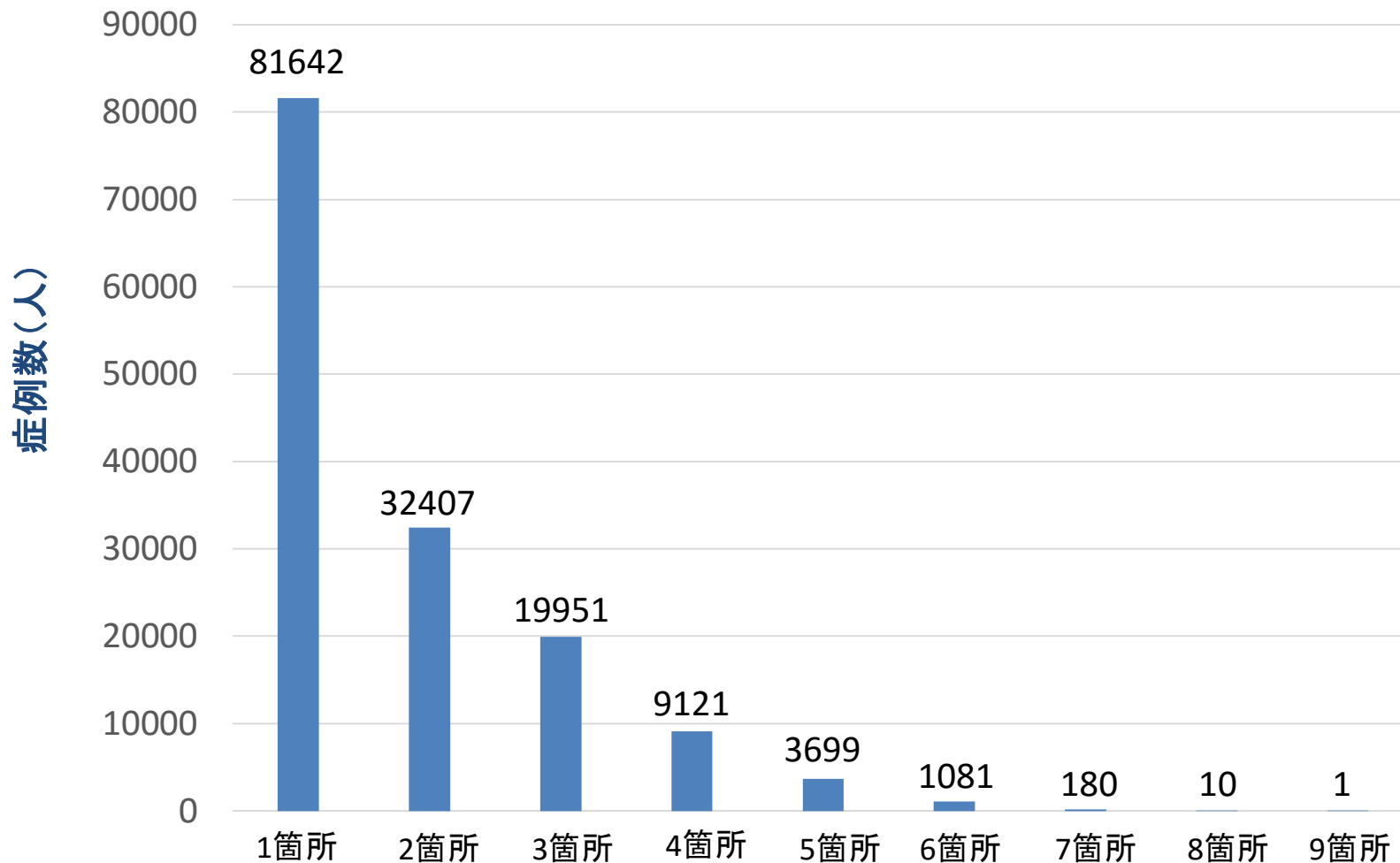


Figure
38

AIS 損傷区分に基づく損傷箇所数と症例数



日本外傷データバンク報告 2016
(2011-2015)
JAPAN TRAUMA DATA BANK
REPORT 2016 (2011-2015)

2016年10月21日



日本救急医学会 診療の質評価指標に関する委員会

担当理事 坂本哲也

委員長 浅利 靖

日本外傷学会 トラウマレジストリー検討委員会

担当理事 坂本哲也

委員長 齋藤大蔵

タスクフォース

上野正人

内田靖之

織田 順

木村昭夫

阪本雄一郎

白石 淳

田中啓司

東平日出夫

中原慎二

林 宗貴

福田充宏

増野智彦

山口芳裕